

Lenovo

Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates

インストールおよびユーザーズ・ガイド



バージョン 7.6.0

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、69 ページの付録 C「注記」に記載されている情報をお読みください。

第 5 版 (2019 年 4 月)

© Copyright Lenovo 2014, 2019.
Portions © Copyright IBM Corporation 2014

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

本書について	iii	ソフトウェア更新の同期	45
規則および用語	iii	公開された更新の表示	46
Web リソース	iii	System Center Configuration Manager での Lenovo 更新のデプロイ	48
第 1 章 . Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates	1	Lenovo 更新デプロイメント前提条件の確認	48
System Updates によるシステム・サポートの提供方法	1	SCCM でのシステム更新ポイント役割の追加	49
第 2 章 . システム要件	3	クライアント・マシンの構成	50
第 3 章 . サポートされるハードウェアおよびソフトウェア	5	SCCM サーバーから SCCM クライアントへの OneCLI のデプロイ	52
サポートされる Microsoft System Center 製品	5	SCCM サーバーから SCCM クライアントへの OneCLI のデプロイ (旧 OneCLI バージョンがデプロイされていなかった場合)	52
サポートされるクライアント・システム	5	SCCM サーバーから SCCM クライアントへの OneCLI のデプロイ (旧 OneCLI がデプロイされている場合)	53
クライアント・マシンでサポートされるオペレーティング・システム	6	SCCM サーバーから SCCM クライアントへの Lenovo 更新のデプロイ	55
クライアント・マシンおよびサーバー・マシンに必要なソフトウェア	6	付録 A. トラブルシューティング	57
第 4 章 . Lenovo System Updates のインストール	7	SUAP ログ・ファイルの構成方法	57
Lenovo System Updates ツールのインストール	7	Lenovo Web サイトからの更新のダウンロードに失敗する	57
Lenovo System Updates ツールのアンインストール	8	System Updates Acquisition and Publishing Tool から Windows Server Update Services に更新を公開できない	58
第 5 章 . Lenovo System Updates と Microsoft System Center Configuration Manager 2007 の連携	9	ファイル署名の検証が失敗するエラーが原因で、System Updates Acquisition and Publishing Tool から Windows Server Update Services に更新を公開できない	58
System Updates Acquisition and Publishing Tool	9	SSL 接続障害のために更新が失敗する	59
「Home (ホーム)」ビューの使用	9	System Updates Acquisition and Publishing Tool の実行中に、レジストリー内のログ・レベル値の変更が有効にならない	60
「All Updates (すべての更新)」ビューの使用	17	更新が Microsoft System Center Configuration Manager サーバーから Microsoft System Center Configuration Manager クライアントにデプロイされない	60
「My Machines (マイ・マシン)」ビューを使用したマシン・タイプの追加および削除	26	ファイアウォールの制限のために、更新が Microsoft System Center Configuration Manager クライアントにデプロイされない	61
更新の比較レポートを生成	27	更新がクライアント・マシンにインストールされない	62
更新デプロイメント結果のジャーナルの表示	27	一部の更新においてインストールを終了するためにクライアント・サーバーを再起動しなければならない場合がある	62
更新対応のためのクライアントのスキャン	28	Windows Updates の通知が Microsoft System Center Configuration Manager クライアントに表示されるのが遅い	63
更新リポジトリの同期	28	Lenovo 更新を SCCM クライアントにインストールできない	64
Microsoft System Center Configuration Manager での Lenovo 更新のデプロイ	32		
システム更新ポイント役割の追加	32		
SCCM サーバーから SCCM クライアントへの OneCLI のデプロイ	36		
第 6 章 . Microsoft System Center Operations Manager 2012 以降のバージョンの使用	45		

System Updates Acquisition and Publishing Tool ツールからの更新を有効期限切れにすることができない	64
シーケンス・パッケージがクライアント・システムにインストールされない	65
付録 B. アクセシビリティ機能	67

付録 C. 注記	69
商標	69
重要事項	70

本書について

このユーザーズ・ガイドには Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates の最新情報が掲載されています。Lenovo System Updates ツールは、ご使用の環境の Lenovo システム更新を入手および公開するために使用します。

規則および用語

太字の「注」、「重要」、または「注意」で始まっているパラグラフは、重要な情報を強調する特定の意味を持つ注意書きです。

注：これらの特記事項は重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供します。

重要：これらの特記事項は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報またはアドバイスを提供します。

注意：これらの特記事項は、プログラム、デバイス、またはデータへの考えられる損傷を示します。損傷が起これる指示または状態の前には警告通知が表示されます。

本書で使用されている用語、頭字語、および省略語のいくつかについて、下の表で説明します。

表 1. 頻繁に使用される用語と頭字語

用語/頭字語	定義
SCCM	System Center Configuration Manager
SSL	セキュア・ソケット・レイヤー
SUAP	System Updates Acquisition and Publishing Tool
UXSP (UpdateXpress System Pack)	ファームウェアとデバイス・ドライバのオンライン更新の統合テスト済みバンドルです。
WSUS	Windows Server Update Services
Lenovo XClarity Essentials OneCLI	Lenovo サーバーの管理に使用できる複数のコマンド・ライン・アプリケーションのコレクションです。

Web リソース

以下の Web サイトでは、Systemx[®]、Flex System、BladeCenter サーバー、およびシステム管理ツールの理解、使用、およびトラブルシューティングに役立つリソースが提供されています。

Lenovo Servers 用 Microsoft Systems Management Solutions の Lenovo Web サイト

System Center Configuration Manager 用の最新のダウンロードがあります。

- [Microsoft System Center 対応 Lenovo XClarity Integrator Web サイト](#)

Lenovo XClarity ソリューションを使用したシステム管理

この Web サイトでは、Lenovo XClarity ソリューションの概要について説明します。このソリューションは、System x および Flex System ハードウェアに統合され、システム管理機能を提供します。

- [Lenovo XClarity ソリューションを使用したシステム管理についての Web サイト](#)

Lenovo テクニカル・サポート・ポータル

この Web サイトは、ハードウェアおよびソフトウェアのサポートを見つける役に立ちます。

- [Lenovo サポート・ポータル Web サイト](#)

Lenovo ServerProven Web サイト

以下の Web サイトには、Lenovo System x、BladeCenter、および IBM IntelliStation ハードウェアとのハードウェア互換性に関する情報が掲載されています。

- [Lenovo ServerProven: BladeCenter 製品の互換性](#)
- [Lenovo ServerProven: Flex System シャーシの互換性](#)
- [Lenovo ServerProven: System x ハードウェア、アプリケーション、およびミドルウェアの互換性](#)

Microsoft System Center Web サイト

この Web サイトは、Microsoft System Center 製品の検索に役立ちます。

- [Microsoft System Center Web サイト](#)

第 1 章 Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates

このセクションのトピックでは、Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates および製品フィーチャーの概要について説明します。

コンピューターの BIOS、ファームウェア、ドライバー、およびハードウェア関連のアプリケーションを最新の状態に保持することは、IT 管理者の重要なアクティビティです。IT 管理者にとって、環境を安定した信頼できる状態で保持するために、準拠性の判別、更新の計画、適切なハードウェア更新の選択、正しいシステム集合への更新の展開を行うことは、複雑で時間がかかることです。

Microsoft System Center 製品、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) および Windows Server Update Services (WSUS) の連携を通じて、Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates は確実に、最新の IT 環境を保持するための時間と労力を節減します。

System Updates によるシステム・サポートの提供方法

Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates には、マシン・タイプ・ベースのダウンロード・メカニズムが備わっています。このメカニズムを使用すれば、Lenovo Web サイト経由で更新を検索することなく、最新の Lenovo システム更新ソフトウェアを容易にダウンロードできます。

Lenovo System Updates を使用すると、カタログ・ファイル (最新の更新を提供していない場合があります) を使用せずに最新の更新を適用できるようになります。

第 2 章 システム要件

このセクションのトピックでは、Lenovo System Updates のハードウェアおよびソフトウェア要件について説明します。

ハードウェア要件

Lenovo System Updates ツールには、特定のハードウェア要件はありません。Lenovo System Updates は、Windows オペレーティング・システムをサポートする Lenovo または Lenovo 以外のサーバー、ワークステーション、ラップトップで実行できます。

サポートされているオペレーティング・システム

System Updates Acquisition and Publishing Tool は、以下の Windows オペレーティング・システムをサポートします。

- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012
- Windows 2012 R2
- Windows Server 2008 SP1/R2
- Windows Server 2008 SP1/SP2
- Windows Server 2008 SP1/SP2 x64
- Windows Server 2003 SP2/R2
- Windows Server 2003 SP2/R2 x64

必要なソフトウェア

Windows Server Update Services 3.0 SP1 以降のバージョンの管理コンソールが必要です。Windows Server Update Services 3.0 SP1 以降のバージョンがローカル・コンピューターにインストールされていない場合、Updates Publisher Setup を実行する前に、Windows Server Update Services 3.0 SP1 以降の管理コンソールをインストールする必要があります。

Windows Server Update Services (WSUS) のバージョンが 4.0 より前の場合は、WSUS パッチが必要です。このパッチは [Windows Server Update Services 3.0 Service Pack 2 用の更新プログラムについて Web ページ](#) からダウンロードできます。

ホスト・コンピューターに Lenovo System Updates ツールをインストールするために使用するアカウントには、Windows Server Update Services 管理者特権が必要です。

第3章 サポートされるハードウェアおよびソフトウェア

このセクションのトピックでは、Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates でサポートされるハードウェアおよびソフトウェアについて説明します。

サポートされる Microsoft System Center 製品

Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates では、以下の Microsoft System Center 製品がサポートされています。

- Microsoft System Center Configuration Manager 1902
- Microsoft System Center Configuration Manager 2016
- Microsoft System Center Configuration Manager 2012
- Microsoft System Center Configuration Manager 2012 R2
- Microsoft System Center Configuration Manager 2012 SP1
- Microsoft System Center Configuration Manager 2007 R2
- Microsoft System Center Configuration Manager 2007 SP2

サポートされるクライアント・システム

Lenovo System Updates は以下のクライアント・システムをサポートしています。

表 2. サポートされる Lenovo ハードウェア

システム	サーバー番号
ThinkSystem サーバー	<ul style="list-style-type: none">• SD530 (7X20、7X21、7X22)• SN550 (7X16)• SN850 (7X15)• SR150/SR158 (7Y54、7Y55)• SR250/SR258 (7Y51、7Y52、7Y53、7Y72 および 7Y73)• SR530 (7X07、7X08)• SR550 (7X03、7X04)• SR570 (7Y02、7X03)• SR590 (7X98、7X99)• SR630 (7X01、7X02)• SR650 (7X05、7X06)• SR850 (7X18、7X19)• SR860 (7X69、7X70)• SR950 (7X12)• ST250/ST258 (7Y45、7Y46、および 7Y47)• ST550 (7X09、7X10)• ST558 (7Y15、7Y16)• Lenovo ThinkAgile VX シリーズ・アプライアンス・サーバー (7Y11、7Y12、7Y13、7Y14)
ThinkServer サーバー	<ul style="list-style-type: none">• RD350• RD450• RD550• RD650• RS160• SD350 (5493)• TD350• TS460
NeXtScale サーバー	<ul style="list-style-type: none">• nx360 M5 (5465)• nx360 M5 DWC (5467、5468、5469)

表 2. サポートされる Lenovo ハードウェア (続き)

システム	サーバー番号
Systemx サーバー	<ul style="list-style-type: none"> • x3250 M6 (3633) • x3500 M5 (5464) • x3550 M4 (7914) • x3550 M5 (5463) • x3630 M4 (7158) • x3650 M4 (7915) • x3650 M5 (5462) • x3750 M4 (8753) • x3850 X6/x3950 X6 (6241)
Flex 計算ノード	<ul style="list-style-type: none"> • Flex System x240 計算ノード (7162、2588) • Flex System x240 M5 計算ノード (2591、9532) • Flex System x280、x480、x880 X6 計算ノード (7196、4258) • Flex System x440 計算ノード (7167、2590)

クライアント・マシンでサポートされるオペレーティング・システム

クライアント・マシンでは、以下の Windows オペレーティング・システムがサポートされます。

- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows 2012 R2
- Windows Server 2012 SP1
- Windows Server 2008 SP1/R2
- Windows Server 2008 SP1/SP2
- Windows Server 2008 SP1/SP2 x64
- Windows Server 2003 SP2/R2
- Windows Server 2003 SP2/R2 x64

クライアント・マシンおよびサーバー・マシンに必要なソフトウェア

Microsoft .NET Framework バージョン 4.0 以降は、サーバーおよびクライアント・マシンの両方にインストールする必要があります。

第 4 章 Lenovo System Updates のインストール

このセクションのトピックでは、Lenovo System Updates のインストールおよびアンインストール方法について説明します。

Lenovo System Updates ツールのインストール

以下の手順では、Lenovo System Updates ツールのインストール方法について説明しています。

このタスクについて

Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates をインストールする方法は 2 つあります。

- 1 つ目は、Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates セットアップ・パッケージ (EXE ファイル) を使用する方法です。
- 2 つ目は、Microsoft System Center Installer 対応 Lenovo XClarity Integrator を使用する方法です。Microsoft System Center Installer 対応 Lenovo XClarity Integrator について詳しくは、[Microsoft System Center 対応 Lenovo XClarity Integrator Web サイト](#)を参照してください。

手順

ステップ 1. [Microsoft System Center 対応 Lenovo XClarity Integrator Web サイト](#) にアクセスします。

ステップ 2. 「Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM), System Updates」をクリックし、最新バージョンの Lenovo System Updates ツールをダウンロードします。

ステップ 3. 「OK」をクリックしてプログラムを停止し、インストールを終了します。

プログラムのインストール中に、Lenovo System Updates ツールの「Preparing to Install (インストールの準備をしています)」ページが開きます。

ステップ 4. 「Next (次へ)」をクリックすると、「InstallShield Wizard (InstallShield ウィザード)」が開始されます。何らかの理由でインストールを停止する必要がある場合は、「Cancel (キャンセル)」をクリックします。

ステップ 5. 「Next (次へ)」をクリックしてインストールを続行し、「License Agreement (使用許諾契約書)」に進みます。

ステップ 6. 「Destination Folder (宛先フォルダー)」ページで、「Next (次へ)」をクリックしてデフォルトのインストール・ディレクトリーを受け入れるか、「Change (変更)」をクリックして新しい場所を入力します。
「Ready to Install the Program (プログラムをインストールする準備完了)」ページが開きます。

ステップ 7. 「Install (インストール)」をクリックし、インストールを開始します。
インストールの進行状況ページが表示されます。

インストールが終了すると、「InstallShield Wizard Completed (InstallShield ウィザード完了)」ページが開きます。

ステップ 8. 以下のいずれかのオプションを選択します。

「Finish (終了)」をクリックして、インストール操作を終了します。

「Launch the Post Action of Lenovo System Updates for Microsoft System Center Configuration Manager (Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates のポスト・

アクションを起動する)」チェック・ボックスを選択して、Lenovo System Updates ツールの「Setup (セットアップ)」ウィザードを開始します。

注：「Setup Wizard (セットアップ・ウィザード)」は、「Start (スタート)」メニューからも開始できます。

Lenovo System Updates ツール のアンインストール

Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates ツールをアンインストールする方法は 4 つあります。

- 「**Add or Remove Programs** (プログラムの追加と削除)」オプションを使用してアンインストールする。Windows Server 2008 オペレーティング・システムの場合は、「**Programs and features** (プログラムと機能)」を使用してアンインストールすることができます。
- Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates Installer (EXE) ファイルの「**Remove** (削除)」オプションを選択する。
- Microsoft System Center 対応 Lenovo XClarity Integrator Installer (EXE) ファイルを使用して「**Remove** (削除)」オプションを選択する。
- 「**Start** (スタート)」メニューから「**Uninstall** (アンインストール)」を選択する。

注：アンインストール処理中に、ログ・ファイル、一時フォルダー、および OneCLI アップグレード・ファイルは削除されません。これらのファイルは、手動で削除する必要があります。

第 5 章 Lenovo System Updates と Microsoft System Center Configuration Manager 2007 の連携

このセクションのトピックでは、Lenovo System Updates および Microsoft System Center Configuration Manager 2007 を連携させる方法について説明します。

System Updates Acquisition and Publishing Tool

System Updates Acquisition and Publishing Tool は、Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates のコア・コンポーネントです。このツールは、Lenovo Web サイトから更新を取得し、その更新を Windows Server Update Services サーバーに公開する機能を提供します。

Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates を使用すると、お客様固有のマシン・タイプに関して、設定の構成、マシン・リストの維持、および更新の管理が容易になります。

ナビゲーション・ペインは、次の 3 つのビューで構成されます。

- ホーム
- すべての更新
- マイ・マシン

「Home (ホーム)」ビューの使用

「Home (ホーム)」ビューには、Lenovo System Updates での作業を始めるために役立つ 3 つのオプションが用意されています。

「Setup (セットアップ)」ウィザード

「Setup Wizard (セットアップ・ウィザード)」オプションは、Lenovo System Updates 設定を構成するための手順をガイドします。

Getting Started (はじめに)

「Getting Started (はじめに)」オプションは、Lenovo System Updates ツールを操作するためのマシン・タイプ・リストを作成することによって、システムの更新を始める場合に使用します。

「Setup (セットアップ)」ウィザード

Setup Wizard (セットアップ・ウィザード) は、Lenovo System Updates の構成設定のセットアップを完了するための手順をガイドします。

この構成設定のセットアップを終了すれば、その構成設定を表示したり編集したりできます。構成設定を表示および編集するには 2 つの方法があります。「Start (スタート)」メニューから以下のいずれかの方法を選択します。

- 「Lenovo SUAP tool Menu」 → 「Edit (編集)」 → 「Preferences (設定)」。
- 「Setup Wizard (セットアップ・ウィザード)」

Windows Server Update Services サーバーの構成

以下の手順は、Windows Server Update Services (WSUS) サーバーの構成方法を記述したものです。WSUS サーバーは、公開を行うために使用されます。正常に更新を公開するには、管理権限が必要です。

手順

ステップ 1. 以下の WSUS サーバー・オプションのいずれかを選択します。

Lenovo System Updates がインストールされているサーバーと同じサーバーを WSUS 用を使用するには、「**Connect to a locate update server** (ローカル更新サーバーに接続する)」をクリックします。

ネットワーク経由で更新を WSUS サーバーに公開するには、「**Connect to a remote update server** (リモート更新サーバーに接続する)」オプションをクリックし、WSUS 更新サーバーの名前と、そのサーバーへの接続に使用するポートを指定します。WSUS 更新サーバーの名前として、ホスト名または IP アドレスを使用できます。

このオプションを選択した場合、「**Use Secure Sockets Layer (SSL)** (セキュア・ソケット・レイヤー (SSL) を使用する)」チェック・ボックスを選択すれば、セキュア・ソケット・レイヤーを使用できます。セキュア・ソケット・レイヤーについては、10 ページの「**Windows Server Update Services サーバーでの Secure Sockets Layer の使用 (オプション)**」を参照してください。

ステップ 2. 「**Next** (次へ)」をクリックして WSUS 構成を続けます。

Windows Server Update Services サーバーでの Secure Sockets Layer の使用 (オプション)

Lenovo System Updates ツールを使用すれば、セキュア・ソケット・レイヤー (SSL) を利用して Windows Server Update Services (WSUS) サーバーに更新を公開できます。SSL は、接続を保護することができ、Lenovo System Updates ツールと Windows Server Update Services サーバーの間で転送されるデータを暗号化することができます。

このタスクについて

リモート WSUS サーバー用に SSL を選択した場合は、以下の手順に従って環境を構成してください。

WSUS サーバーで SSL を構成する方法については、Windows Server Update Services ヘルプ資料の「*Using SSL with WSUS*」を参照してください。また、Internet Information Services (IIS) ヘルプ資料の「*Secure Sockets Layer*」も参照してください。これらのヘルプ資料は、Windows Server Update Services および IIS ツールをインストールすると使用可能になります。

手順

ステップ 1. SSL 証明書ファイルを Lenovo System Updates コンピューターに追加します。SSL 証明書を以下のロケーションにインポートしてください。

- 信頼された発行元
- 信頼されたルート証明機関

ステップ 2. Lenovo SUAP ツールの公開ウィザードを使用して「**SSL support for this WSUS server** (この WSUS サーバーの SSL サポート)」を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. リモート・サーバーに接続したときと同じ方法でローカル・サーバーに接続します。
2. SCCM コンソールで「**SSL support** (SSL サポート)」を有効にします。
3. Microsoft System Center Configuration Manager 2007 の該当するバージョンを選択します。
 - Microsoft System Center Configuration Manager 2007 の場合は、SCCM コンソールを起動して、「**Site Management (サイトの管理)**」 → 「**%Site Name% (%サイト名%)**」 → 「**Site Settings (サイトの設定)**」 → 「**Component Configuration (コンポーネントの構成)**」の順に選択します。

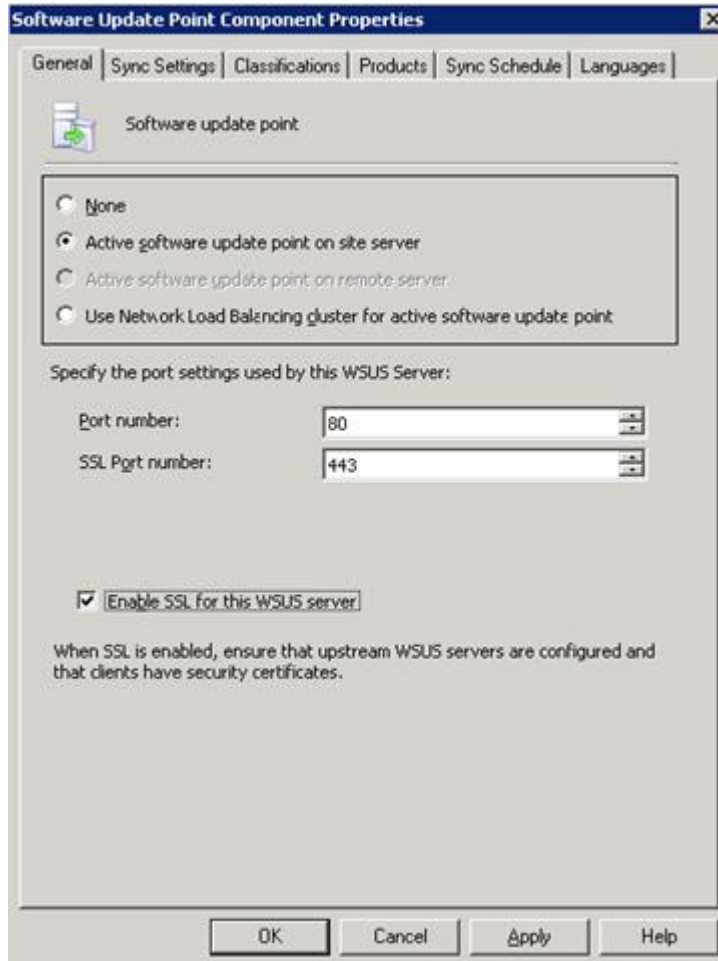


図1. ソフトウェアの更新ポイントのコンポーネント・プロパティ (SCCM 2007)

- Microsoft System Center Configuration Manager 2012 の場合は、SCCM コンソールを起動して、「Administration (管理)」 → 「Site Configuration (サイト構成)」 → 「Sites (サイト)」 → 「%Site Name% (%サイト名%)」 → 「Configure Site Components (サイト・コンポーネントの構成)」を選択します。

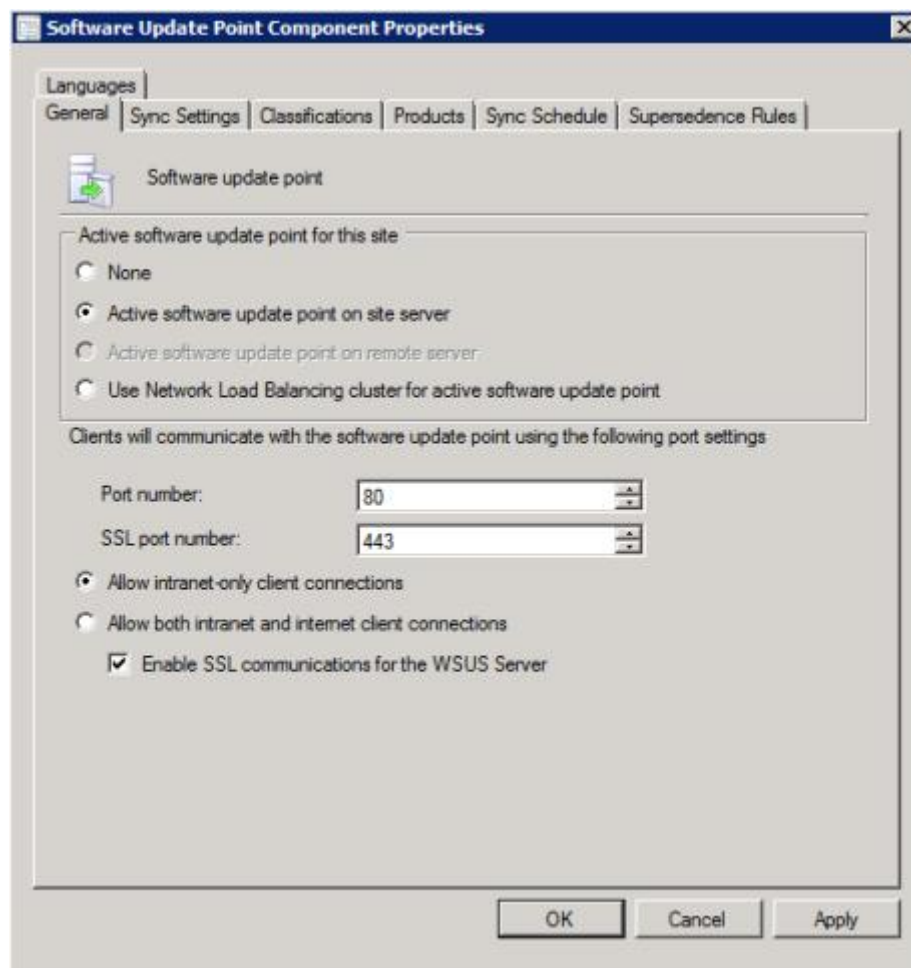


図2. ソフトウェアの更新ポイントのコンポーネント・プロパティ

4. 「Software Update Point Component (ソフトウェアの更新ポイント コンポーネント)」を開いて「SSL support (SSL サポート)」を使用可能にします。

注：Windows Server Update Services サーバー名は、SSL 証明書内の「Issued to name (発行先名)」と同じでなければなりません。

ステップ 3. SSL 証明書ファイルをクライアント・コンピューターに追加します。

ステップ 4. SSL 証明書を「Trusted Publishers (信頼された発行元)」および「Trusted Root Certification Authorities (信頼されたルート証明機関)」にインポートします。

Windows Server Update Services サーバー証明書の構成

このセクションのトピックでは、Windows Server Update Services (WSUS) サーバーのデジタル証明書の構成方法について説明します。

このタスクについて

「WSUS Server Certificate (サーバー証明書)」 ページで、WSUS サーバーのデジタル証明書を構成することができます。

手順

ステップ 1. 証明書を選択または作成するには、以下のいずれかのオプションを選択します。

サード・パーティー証明書にナビゲートし、それを選択するには、「**Browse (参照)**」をクリックします。

新しい自己署名証明書を生成するには、「**Create (作成)**」をクリックします。

注：Windows 2012 R2 以降のバージョンでは、WSUS は自己署名証明書を発行しなくなりました。証明書は、認証局をインストールすることによって作成できます。詳しくは、[Microsoft System Center – Install the Certification Authority Web ページ](#)を参照してください。

ステップ 2. 「**Next (次へ)**」をクリックします。

次に行うこと

デジタル証明書は、更新の署名に使用します。Lenovo 更新を SCCM サーバーに公開するには、事前に証明書を System Center Configuration Manager 更新サーバー上の該当する証明書フォルダーにコピーすることによって追加する必要があります。また、証明書を Lenovo System Updates コンピューターにもコピーし、更新サーバーに同じ証明書が確実にあるようにしてください。

証明書が WSUS サーバー上にない場合、Lenovo System Updates ツールによって、WSUS サーバー上で自己署名証明書を生成するように要求するプロンプトが出されます。

注：Lenovo System Updates ツールは、第三者機関の証明書のインポートもサポートします。サード・パーティー証明書をインポートするには、「**Browse (参照)**」をクリックし、「**third-party certificate (サード・パーティー証明書)**」を選択します。

証明書の追加

以下の手順は、適切な証明書フォルダーに証明書を追加する方法を説明しています。

手順

ステップ 1. 「**Start (スタート)**」 → 「**Run (ファイル名を指定して実行)**」をクリックします。

ステップ 2. コマンドラインに MMC を入力し、「**OK**」をクリックして、Microsoft Management Console (MMC) を開きます。

ステップ 3. 証明書を追加するには、「**File (ファイル)**」 → 「**Add/Remove Snap-in (スナップインの追加と削除)**」をクリックし、「**Add (追加)**」をクリックします。

ステップ 4. 「**Certificates (証明書)**」をクリックし、「**Add (追加)**」をクリックします。

ステップ 5. 「**Computer account (コンピュータ アカウント)**」を選択し、「**Next (次へ)**」をクリックします。

ステップ 6. 別のコンピューターを選択するには、更新サーバーの名前を入力するか、「**Browse (参照)**」をクリックして更新サーバー・コンピューターを見つけます。更新サーバーが同じサーバー上にある場合は、このウィンドウで「**Local computer (ローカル コンピュータ)**」を選択します。

ステップ 7. 「**Finish (終了)**」をクリックします。

ステップ 8. 「**Close (閉じる)**」をクリックします。

ステップ 9. 「**OK**」をクリックします。

ステップ 10. 「**Certificates (証明書)**」を展開してから「**WSUS**」を展開し、「**Certificates (証明書)**」をクリックします。

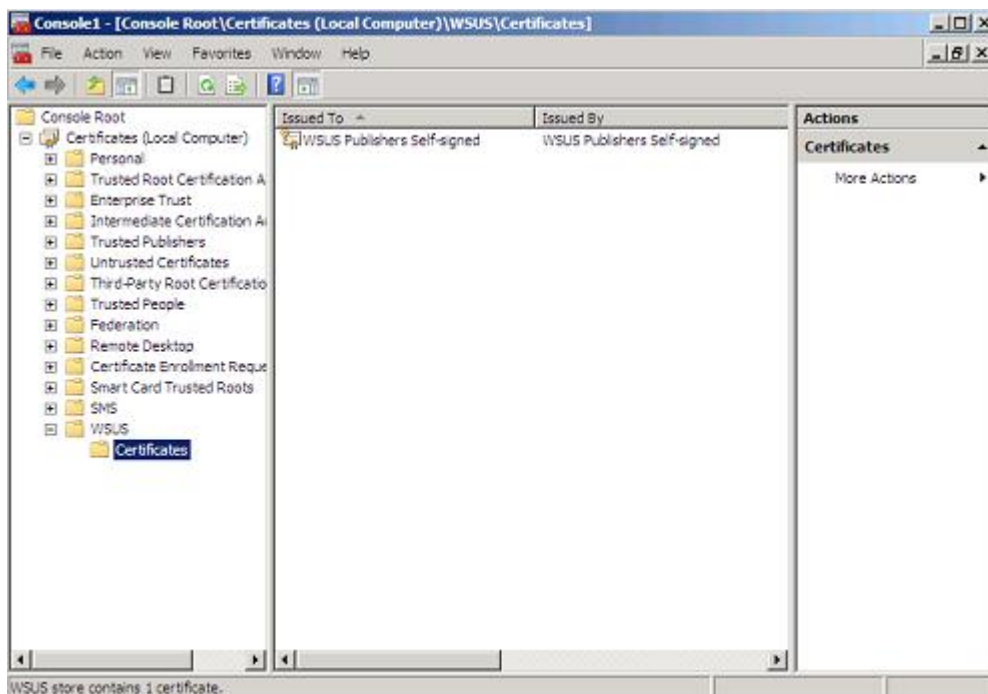


図3. コンソール 1 - WSUS 証明書

- ステップ 11. 中央のペインで**certificate name** (証明書名) を右クリックして、「**All Tasks** (すべてのタスク)」を選択し、「**Export** (エクスポート)」をクリックします。
Certificate Export Wizard (証明書のエクスポートウィザード) が開始されます。
- ステップ 12. デフォルト設定を使用して、ウィザードで指定された名前と場所でエクスポート・ファイルを作成します。
次のステップに進む前に、このファイルが更新サーバーから使用可能になっていなければなりません。
- ステップ 13. 「**Trusted Publishers** (信頼された発行元)」を右クリックして、「**All Tasks** (すべてのタスク)」を選択し、「**Import** (インポート)」をクリックします。ステップ 6 でエクスポートしたファイルを使用して、「Certificate Import Wizard (証明書のインポートウィザード)」を完了します。
- ステップ 14. 自己署名証明書 (WSUS Publishers Self-signed など) を使用している場合は、「**Trusted Root Certification Authorities** (信頼されたルート証明機関)」を右クリックし、「**All Tasks** (すべてのタスク)」、「**Import** (インポート)」の順に選択します。ステップ 6 でエクスポートしたファイルを使用して、「Certificate Import Wizard (証明書のインポートウィザード)」を完了します。
- ステップ 15. Updates Publisher コンピューターが更新サーバーに対してリモート・コンピューターである場合、ステップ 7 と 8 を繰り返して、証明書を Updates Publisher コンピューターの証明書フォルダーにインポートします。

クライアント・コンピューターで、Windows Update Agent が更新のスキャンを行います。

重要: ローカル・コンピューターの「信頼された発行元」フォルダーにデジタル証明書が見つからない場合、最初のインストール・アクションは失敗します。更新カタログを公開したときに自己署名証明書 (WSUS Publishers Self-signed など) が使用された場合、証明書の妥当性を検証するために、その証明書もローカル・コンピューターの「**Trusted Root Certification Authorities certificate** (信頼されたルート証明機関)」の証明書フォルダーになければなりません。

証明書の構成および証明書への署名

以下の手順は、証明書を構成して、その証明書に署名する方法を記述したものです。

このタスクについて

クライアント・コンピュータで証明書を構成して、その証明書に署名する方式は2つあります。

- **Using Group Policy and the Certificate Import Wizard** (グループ・ポリシーおよび証明書インポート・ウィザードの使用): 13 ページの「証明書の追加」に記載された手順を実行します。
- **Using the certificate utility and software distribution** (証明書ユーティリティーおよびソフトウェア配布の使用): 以下の手順にあるステップを実行します。

手順

- ステップ 1. Microsoft 管理コンソール (MMC) を開くには、「**Start (スタート)**」 → 「**Run (ファイル名を指定して実行)**」をクリックし、テキスト・ボックスに MMC と入力して「**OK**」をクリックします。
- ステップ 2. 「**File (ファイル)**」をクリックし、「**Add/Remove Snap-in (スナップインの追加と削除)**」を選択します。
「Add/Remove Snap-in (スナップインの追加と削除)」ダイアログ・ボックスが開きます。
- ステップ 3. 「**Add (追加)**」をクリックし、「**Certificates (証明書)**」を選択して、「**Add (追加)**」をクリックします。
「Certificates Snap-in (証明書スナップイン)」ダイアログ・ボックスが開きます。
- ステップ 4. **Computer account (コンピュータ・アカウント)** を選択し、「**Next (次へ)**」をクリックします。
「Select Computer (コンピュータの選択)」ダイアログ・ボックスが開きます。
- ステップ 5. 以下のいずれかのサーバー・オプションを選択します。

Another (別のコンピュータ): 更新サーバーの名前を入力するか、「**Browse (参照)**」をクリックして更新サーバーを見つけます。

Local Computer (ローカル・コンピュータ): 更新サーバーが同じサーバー上にある場合は、このオプションを使用します。
- ステップ 6. 「**Finish (終了)**」をクリックして、「**Add Standalone Snap-in (スタンドアロン スナップインの追加)**」ダイアログ・ボックスに戻ります。
- ステップ 7. 「**Close (閉じる)**」をクリックして、「**Add/Remove Snap-in (スナップインの追加と削除)**」ダイアログ・ボックスに戻ります。
- ステップ 8. 「**OK**」をクリックします。
- ステップ 9. MMC コンソールで、「**Certificates (証明書)**」 (更新サーバー名) を展開し、「**WSUS**」を展開して、「**Certificates (証明書)**」を選択します。
- ステップ 10. 結果ペインで **certificate (証明書)** を右クリックして「**All Tasks (すべてのタスク)**」を選択し、「**Export (エクスポート)**」を選びます。「**Certificate Export Wizard (証明書のエクスポートウィザード)**」に指定されている名前とロケーションで証明書エクスポート・ファイルを作成するには、デフォルト設定を使用してください。
- ステップ 11. 以下のいずれかの方式を選択して、更新カタログの署名に使用された証明書をクライアント・コンピュータごとに追加します。クライアント・コンピュータは、Windows Update Agent を使用してカタログ内の更新をスキャンします。

自己署名証明書の場合: 「**Trusted Root Certification Authorities (信頼されたルート証明機関)**」および「**Trusted Publishers certificate (信頼された発行元の証明書)**」フォルダーに証明書を追加します。

認証局 (CA) 発行の証明書の場合: 「Trusted Publishers certificate (信頼された発行元の証明書)」フォルダーに証明書を追加します。

注: Windows Update Agentは、「Group Policy (グループ・ポリシー)」設定がローカル・コンピュータで使用可能にされているかを確認します。Updates Publisher を使用して作成および公開された更新を Windows Update Agent でスキャンするには、「Group Policy (グループ・ポリシー)」設定が有効になっている必要があります。詳しくは、[Microsoft Windows Update Agent Web ページ](#)を参照してください。

アウトバウンド接続の構成

以下の手順は、アウトバウンド接続を構成する方法を記述したものです。

このタスクについて

アウトバウンド接続の構成には、次の図に示す3つのオプションがあります。

The local machine can access the Internet directly (ローカル・マシンはインターネットに直接アクセスできる)

このオプションを選択した場合、アウトバウンド接続用の追加のネットワーク構成は不要です。

The local machine requires a proxy server to access the Internet (ローカル・マシンはインターネットへのアクセスにプロキシ・サーバーが必要)

このオプションを選択した場合は、Lenovo System Updates がインターネットに接続できるように HTTP プロキシをセットアップする必要があります。

The local machine will not have access to the Internet (ローカル・マシンはインターネットにアクセスできない)

このオプションを選択した場合は、更新が以前に保存されたローカル・リポジトリから更新を行うことができます。

注: Lenovo Web サイトから最新の更新を入手するには、インターネット接続が必要です。自動更新を選択していない場合は、手動で更新をローカル・リポジトリに入れる必要があります。

手順

ステップ 1. アウトバウンド接続オプションの1つを選択します。

注: 「The local machine requires a proxy server to access the Internet (ローカル・マシンはインターネットへのアクセスにプロキシ・サーバーが必要)」オプションを選択した場合は、以下の情報を入力してください。

- ホスト
- ポート

ステップ 2. 「Next (次へ)」をクリックします。

「Configuring the local repository (ローカル・リポジトリの構成)」ページが開きます。16 ページの「ローカル・リポジトリの構成」を参照し、このトピックに示されている手順を実行してください。

ローカル・リポジトリの構成

以下の手順は、更新用にローカル・リポジトリを構成する方法を記述したものです。

手順

ステップ 1. 現行フォルダーを受け入れるか、または「Browse (参照)」をクリックして、ローカル・リポジトリで別のフォルダーを見つけます。

ステップ 2. 「Next (次へ)」をクリックします。「Confirm Setup (セットアップの確認)」ページが開きます。

- ステップ3. 「**Confirm (確認)**」をクリックして、前の設定を確認します。
「**Setup Finished (セットアップが終了しました)**」ダイアログ・ボックスが開きます。
- ステップ4. 「**Finish (終了)**」をクリックして、「**Setup (セットアップ)**」ウィザードを完了します。

マシン・タイプの表示

ご使用のコンピューターの更新を開始する前に、まず「**Supported Machine Types (サポートされるマシン・タイプ)**」リストから、ご使用のマシン・タイプを追加する必要があります。

このタスクについて

マシン・タイプを確認する方法は2つあります。以下のいずれかのステップを実行します。

- 「**Home (ホーム)**」ビューで、「**Go to My Machines (マイ・マシンに移動)**」をクリックします。
- ナビゲーション・ペインで、「**My Machines (マイ・マシン)**」ビューをクリックします。詳しくは、26 ページの「**My Machines (マイ・マシン)**」ビューを使用したマシン・タイプの追加および削除」を参照してください。

「All Updates (すべての更新)」ビューの使用

「**All Updates (すべての更新)**」ビューでは、ナビゲーション・ペインに現行マシンのリストが示されます。

このタスクについて

「**All Updates (すべての更新)**」ビューを使用するには、以下の手順を実行してください。

手順

- ステップ1. 「**Home (ホーム)**」ビューで、「**All Updates (すべての更新)**」を展開し、各マシンの更新の状況を表示します。
- ステップ2. 「**All Updates (すべての更新)**」の下にリストされている、関連する詳細を表示するマシンを選択します。何らかの更新がある場合に、この情報が右ペインに表示されます。更新がない場合は、次のメッセージが表示されます。
There is no update for this machine. (このマシンの更新はありません。)
You can check updates from Lenovo website or the WSUS server, or import them from a local folder. Or you can reload the updates if they have been downloaded and imported earlier. Click the Action button to start the process.
(Lenovo Web サイトまたは WSUS サーバーから更新を確認したり、ローカル・フォルダーからインポートしたりできます。以前にダウンロードしてインポートした更新がある場合は再ロードできます。処理を開始するには「**操作**」ボタンをクリックしてください。)
- ステップ3. 「**Actions (操作)**」をクリックし、「**Check all updates from Lenovo site (Lenovo サイトからのすべての更新を検査)**」を選択して、更新確認プロセスを開始します。
- ステップ4. 右上のペインで、詳細情報を表示する更新を選択します。更新を選択すると、更新に関して以下のようなより具体的な情報を提供するタブのある、詳細ウィンドウが開きます。
- 更新バージョン番号
 - Lenovo Web サイトおよびサーバーで前回検査が正常に行われた日付
 - 更新について、より具体的な情報を含むタブ
- ステップ5. 以前に Lenovo Web サイトから更新をダウンロードしたり、同じリポジトリ・パスに更新をインポートしたりしたことがある場合は、その更新を System Updates Acquisition and Publishing Tool に再ロードできます。そのためには、「**Actions (操作)**」をクリックして「**Reload local updates (ローカル更新の再ロード)**」を選択します。

「Import (インポート)」ウィザードを使用した更新のインポート

Import Wizard (インポート・ウィザード) は、ローカル・ディレクトリまたは共有ネットワーク・ロケーションから更新をインポートします。

始める前に

更新に関する以下の情報に注意してください。

- 更新パッケージが ZIP ファイルの形式で Lenovo Web サイトからダウンロードされた場合は、まずその更新パッケージ・ファイルを解凍してください。System Updates Acquisition and Publishing Tool では、ZIP ファイルの内容が解凍されている必要があります。
- 各更新には、バイナリー・ファイル (EXE) とメタデータ・ファイル (XML) が含まれています。System Updates Acquisition and Publishing Tool で更新が受け入れられるためには、これらの両方のファイルが必要です。

このタスクについて

この更新には、個別の更新、シーケンス・パッケージ、あるいは UpdateXpress System Pack Installer を使用することができます。

手順

- ステップ 1. Import Wizard (インポート・ウィザード) を開始するには、ナビゲーション・ペインで **machine name** (マシン名) をクリックし、「**Actions (操作)**」リストから「**Import updates from local site** (更新をローカル・サイトからインポート)」を選択します。
「Import Wizard (インポート・ウィザード)」のウェルカム・ページが開きます。
- ステップ 2. 「**Next (次へ)**」をクリックして先に進みます。
「**Select Updates Source (更新ソースの選択)**」ページが開きます。
- ステップ 3. 「**Browse (参照)**」をクリックし、**updates source folder** (更新ソース・フォルダー) を選択して、「**Next (次へ)**」をクリックします。

注：System Updates Acquisition and Publishing Tool は、更新をルート・パスにインポートします。サブディレクトリーにある更新はインポートされません。これらのファイルをインポートするには、「Import Wizard (インポート・ウィザード)」を再度実行し、「Select Updates (更新の選択)」ページでサブディレクトリーを選択します。

- ステップ 4. 「Select Updates (更新の選択)」ページで、個々の更新を選択するか、「**Select All (すべて選択)**」チェック・ボックスを選択して選択可能なすべての更新を選択することができます。「**Next (次へ)**」をクリックして、Lenovo System Updates ローカル・リポジトリーへの更新のインポートを開始します。
「Importing Updates (更新のインポート中)」ページに、インポート操作の進行状況が示されます。
- ステップ 5. 更新のインポートが正常に完了したら、「**Next (次へ)**」をクリックして、インポートされた更新の要約を表示します。
「Import Finished (インポートが完了しました)」ページにインポートの状況が表示され、インポートされた更新数と、それらの更新のリストが示されます。
- ステップ 6. 「**Finish (終了)**」をクリックします。

Lenovo Web サイトからのすべての更新の検査

以下の手順は、Lenovo Web サイトから特定のマシン・タイプに関するすべての更新を確認する方法を記述したものです。

このタスクについて

この作業を行うには、インターネットへのネットワーク接続と製品ライセンスが必要です。HTTP プロキシを使用してインターネットにアクセスすることも、インターネットに直接接続することも可能です。

Lenovo Web サイトからの更新を検査するには、次の 2 つのオプションがあります。

- 「**Check all updates from Lenovo site** (Lenovo サイトからのすべての更新を検査)」オプションを使用するには、ステップ 1 を実行します。
- 「**Check selected updates from Lenovo** (Lenovo からの選択した更新を検査)」オプションを使用するには、ステップ 2 を実行します。

手順

- ステップ 1. ナビゲーション・ペインで **machine name** (マシン名) をクリックし、「**Actions (操作)**」リストから「**Check all updates from Lenovo site** (Lenovo Web サイトからすべての更新を検査)」を選択します。このアクションにより、Lenovo Web サイトにある特定のマシン・タイプに関連するすべての更新の検査が実行されます。
- ステップ 2. ナビゲーション・ペインで、**machine name** (マシン名) をクリックします。右ペインに何らかの更新がリストされている場合は、リスト・ビューからそれらの更新を 1 つ以上選択します。(複数の更新を選択する場合は、**Ctrl** および **Shift** を押します。)**Actions (操作)** リストで、「**Check selected updates from Lenovo** (Lenovo からの選択した更新の検査)」を選択します。このアクションにより、Lenovo Web サイトにある特定のマシン・タイプに関連する選択された更新の検査が実行されます。

このプロセスは、完了するまでに数分間かかる場合があります。

「更新の検査」プロセスが終了すると、「**Update on Lenovo Web Site** (Lenovo Web サイト上の更新)」タブに表示されているバージョンが更新されて、更新に関する詳細情報が示されます。「**Update on Lenovo Web Site** (Lenovo Web サイト上の更新)」タブに表示されているバージョンが、ローカル・リポジトリにあるバージョンより新しい場合は、更新名の横に青色のアイコンが示され、現在使用しているバージョンが古いことを示す警告メッセージが表示されます。

Detail: Qlogic Network (NIC) Device Drivers for Windows 2008/2008R2

Update in Local Repository

Version: 4.7.16.0907

Date the Lenovo web site was last successfully checked: 09/22/2014.
 Date the WSUS server was last successfully checked: N/A.

General | Installation Information | Applicable Platforms | Revision History | Read Me File

Property Name	Value
Name	Qlogic Network (NIC) Device Drivers for Windows 2008/2008R2
Description	Qlogic Network (NIC) Device Drivers for Windows 2008/2008R2
Category	Network
Update ID	qlgc_dd_cna_4.7.16.0907_win2k8_32-64
Manufacturer	IBM
Update Selection	never
Corequisite Update(s)	N/A
Prerequisite Update(s)	N/A
Superseded Update(s)	N/A

図 4. 「General (全般)」タブの詳細情報が表示された更新ビュー

「General (全般)」タブには以下のプロパティのリストがあります。このタブは「Updates (更新)」ビューの右下のペインに表示されます。

- **Name** (名前)
- **Description** (説明)
- **Category** (カテゴリー)
- **Update ID** (更新 ID)
- **Manufacturer** (製造元)

- Update Selection (更新の選択)
- Corequisite Update(s) (相互に必要な更新)
- Prerequisite Update(s) (前提条件の更新)
- Superseded Update(s) (置き換えられる更新)

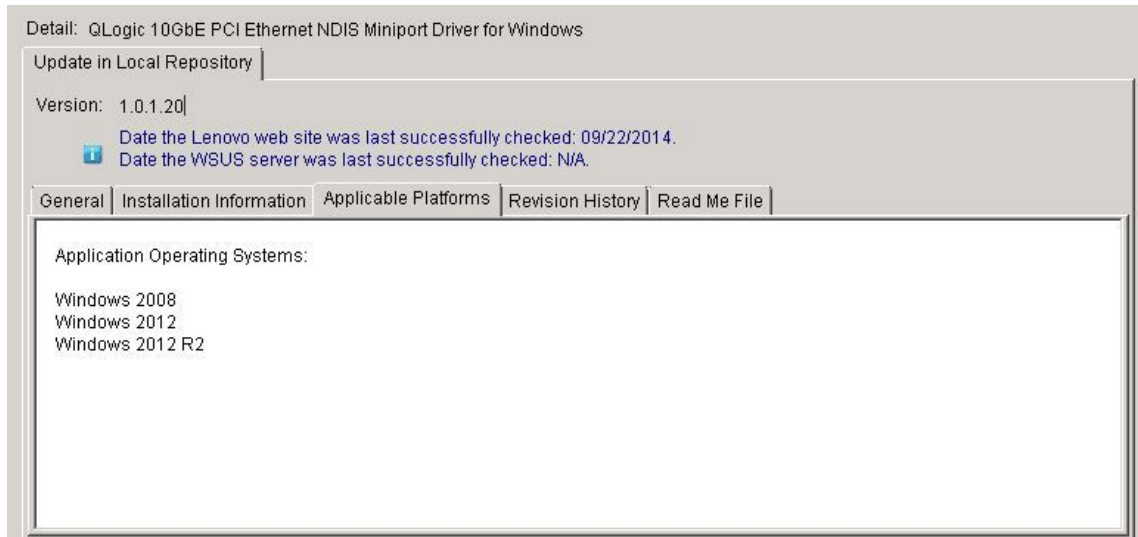


図5. 「Applicable Platforms (適用可能なプラットフォーム)」タブの「Updates (更新)」ビュー

「Applicable Platforms (適用可能なプラットフォーム)」タブには、アプリケーション・オペレーティング・システムの更新のリストがあります。

Lenovo Web サイトからの選択した更新のダウンロード

このトピックでは、選択した更新の最新バージョンを Lenovo Web サイトからダウンロードする方法について説明します。Lenovo Web サイトで検査が完了した更新 (リモート更新と呼ばれます) のみを、ダウンロード対象として選択できます。

始める前に

この操作を行うには、インターネットへのネットワーク接続とライセンスが必要です。HTTP プロキシを使用してインターネットにアクセスすることも、インターネットに直接接続することも可能です。

このタスクについて

OneCLI パッケージは、各 Systemx および Thinksystem サーバーごとに、更新可能なオンライン・ファームウェアとデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルを備えています。

手順

- ステップ 1. ダウンロード対象として、個々の更新を選択するか、Ctrl と Shift を押したまま複数の更新を選択します。
- ステップ 2. 「Actions (操作)」リストから、「Download Selected updates from Lenovo website (Lenovo Web サイトからの選択した更新のダウンロード)」を選択します。「Download Wizard (ダウンロード・ウィザード)」が開きます。

「Download (ダウンロード)」ウィザードの使用

選択した更新を Lenovo Web サイトからダウンロードするには、「Download Wizard (ダウンロード・ウィザード)」を使用します。

手順

ステップ 1. 「Actions (操作)」リストから、「Download Selected updates from the Lenovo website (選択した更新を Lenovo Web サイトからダウンロード)」を選択します。「Download Wizard (ダウンロード・ウィザード)」が開き、更新ダウンロード操作が開始されます。

ダウンロードが完了したら、要約ページにダウンロード状況が表示されます。

ステップ 2. 「Finish (終了)」をクリックします。

選択した更新のダウンロードと WSUS サーバーへの公開

以下の手順は、選択した更新の最新バージョンをダウンロードして Windows Server Update Services (WSUS) サーバーに直接公開する方法を記述したものです。

始める前に

選択した更新をダウンロードして WSUS に公開する作業を開始する前に、公開環境を準備する必要があります。詳しくは、10 ページの「Windows Server Update Services サーバーでの Secure Sockets Layer の使用 (オプション)」を参照してください。

このタスクについて

この操作を行うには、インターネットへのネットワーク接続とライセンスが必要です。HTTP プロキシを使用してインターネットにアクセスすることも、インターネットに直接接続することも可能です。

注：Lenovo Web サイトで検索済みの更新のみを、ダウンロード対象として選択できます。

手順

ステップ 1. 個々の更新を選択するか、Ctrl と Shift を押したまま複数の更新を選択します。

ステップ 2. 「Actions (操作)」リストから、「Download Selected updates from the Lenovo website (選択した更新を Lenovo Web サイトからダウンロード)」を選択します。「Download and Publish Wizard (ダウンロードおよび公開ウィザード)」が開きます。

「Download and Publish (ダウンロードおよび公開)」ウィザードの使用

「Download and Publish Wizard (ダウンロードおよび公開ウィザード)」を使用して、選択した更新を Windows Server Update Services (WSUS) に公開できます。

このタスクについて

ダウンロードおよび公開する個々の更新、または複数の更新を選択すると、「Download and Publish (ダウンロードおよび公開)」ウィザードが開始されます。

手順

ステップ 1. 「I accept the terms in the license agreement (使用条件の条項に同意します)」をクリックします。

ステップ 2. 「Next (次へ)」をクリックして更新のダウンロードを開始します。

更新ダウンロード操作は終了まで数分かかることがあります。

更新のダウンロードが終了すると、ダウンロード状況が要約ページに表示されます。

ステップ 3. 「Next (次へ)」をクリックします。

ステップ 4. 次の図に示すように、「Confirm Updates Packages (更新パッケージの確認)」ページで、リストされたすべての更新を WSUS サーバーに公開する準備が整っていることを確認します。

ステップ 5. 次のオプションを選択します。

「Allow updates to be installed as a downgrade (更新をダウングレードとしてインストールできるようにする)」。このオプションは、システム内のハードウェアに対して、ダウングレード・バージョンのファームウェアまたはドライバのインストールを試行します。このオプションは、より高いバージョンの更新が既にインストールされている可能性があるときに、更新をインストールしたい場合にのみ選択してください。この更新が WSUS サーバーに公開された後も、更新プログラムのこのオプションを変更できます。このオプションが選択されていてもいなくても、更新を再度公開できます。

ステップ 6. 「Confirm (確認)」をクリックして、公開の結果を表示します。

「Publishing Updates (更新を公開しています)」ページが表示されます。この操作は、完了するまでに数分間かかる場合があります。

「Publishing operation is complete (公開操作が完了しました)」ページには、公開の結果が表示され、WSUS サーバーに正常に公開された更新の数が示されます。公開されなかった更新がある場合は、リストされます。

ステップ 7. 「Finish (終了)」をクリックします。

選択済み更新の Windows Server Update Services サーバーへの公開

このトピックでは、選択した更新を Windows Server Update Services (WSUS) サーバーに公開する方法について説明します。

始める前に

Lenovo 更新を公開する前に、WSUS サーバーおよび証明書が正しく構成されていることを確認してください。詳しくは、9 ページの「Windows Server Update Services サーバーの構成」を参照してください。

このタスクについて

この操作を行うには、インターネットへのネットワーク接続とライセンスが必要です。HTTP プロキシを使用してインターネットにアクセスすることも、インターネットに直接接続することも可能です。WSUS サーバーの構成について詳しくは、9 ページの「「Setup (セットアップ)」ウィザード」を参照してください。

「公開 (Publish)」ウィザードの使用

以下の手順は、「Publish Wizard (公開ウィザード)」の使用方法を記述したものです。この手順には、ターゲット Windows Server Update Services サーバーに更新を公開する手順が含まれています。

手順

ステップ 1. ダウンロード対象として、個々の更新を選択するか、**Ctrl or Shift** (Ctrl または Shift) を押したまま複数の更新を選択します。

ステップ 2. 「Actions (操作)」リストから「**Publish Selected updates to WSUS (選択した更新を WSUS に公開)**」を選択して、Publish Wizard (公開ウィザード) を開始します。

ステップ 3. 21 ページの「「Download and Publish (ダウンロードおよび公開)」ウィザードの使用」の手順を完了します。

選択した更新の WSUS への再公開

次の手順では、mtrox-lnvgy_dd_video_4.03.04.003_windows_x86-64 の例を使用し、選択した更新を再公開してペイロードを WSUS に更新する方法を説明します。

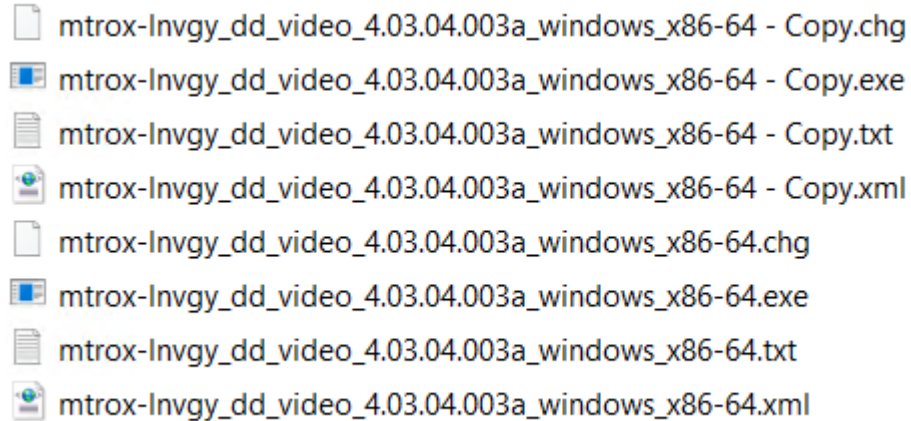
このタスクについて

選択した更新を WSUS に再発行すると、更新のメタデータのみが更新されます。更新のペイロードを WSUS に更新するには、更新ファイルの名前を変更して xml ファイルを更新してから、選択した更新プロ

グラムを発行する必要があります。次の手順では、選択した更新プログラムを再発行して、ペイロードを WSUS に更新する方法について説明します。

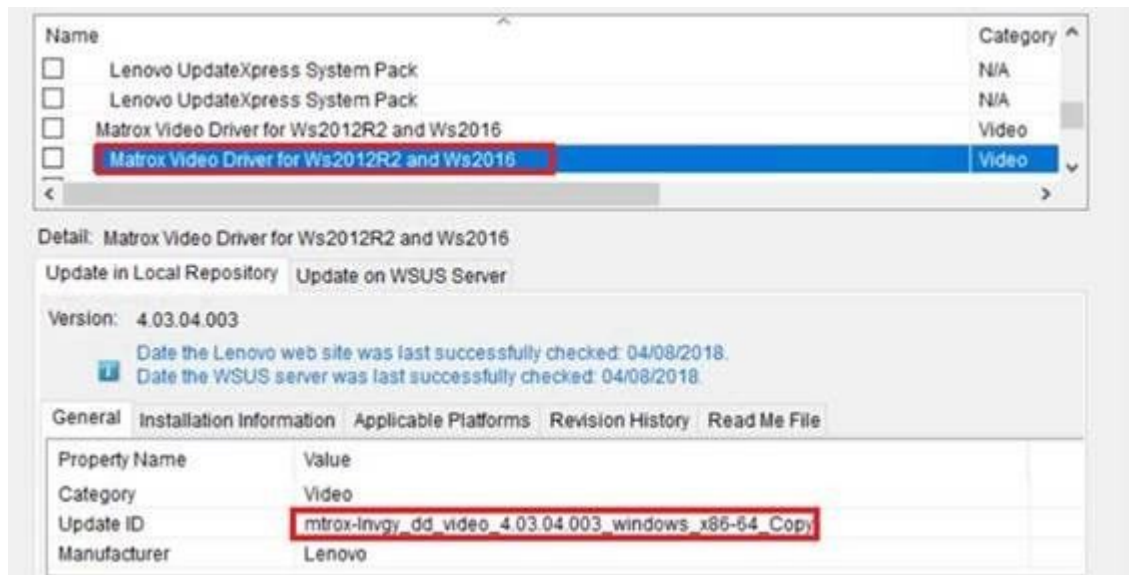
手順

ステップ 1. ドライバーのコピーを作成し、すべてのファイルの名前を変更します。文字列は、各ファイル名の最後に追加する必要があります。



ステップ 2. mtrox-lnvgy_dd_video_4.03.04.003_windows_x86-64_Copy.xml ファイルのすべての「mtrox lnvgy_dd_video_4.03.04.003_windows_x86-64」を「mtrox-lnvgy_dd_video_4.03.04.003_windows_x86-64_copy」に置き換えます。

ステップ 3. System Update から更新を再ロードします。



ステップ 4. 「Confirm (確認)」をクリックして、再公開の結果を表示します。「Publishing Updates」ページが新しい名前が表示されます。

ステップ 5. 「OK」をクリックして、ドライバーを再公開します。ドライバーのペイロードが更新されます。

更新シーケンスの作成

1つのシーケンス・パッケージ内に複数のローカル更新を編成することができます。シーケンス・パッケージは、更新をラップしており、それらの更新をクライアント・マシンにデプロイします。UpdateXpress System Pack によってシーケンス・パッケージがインストールされる際に、自動的に更新のインストール順序が決定されます。

別のデプロイメント用にシーケンス・パッケージを保存または再インポートできます。下図は、my first sequence.xml というシーケンスを保存する例です。

更新リストには、入手可能な更新のリストと、保存されたシーケンス「my first sequence」が含まれています。

「my first sequence」を選択して、そのシーケンス更新パッケージの具体的な情報を表示します。

詳細ウィンドウの「General (全般)」タブにシーケンス・パッケージのプロパティがリストされます。

更新 ID には、シーケンスの名前、日付、および固有 ID が含まれます。

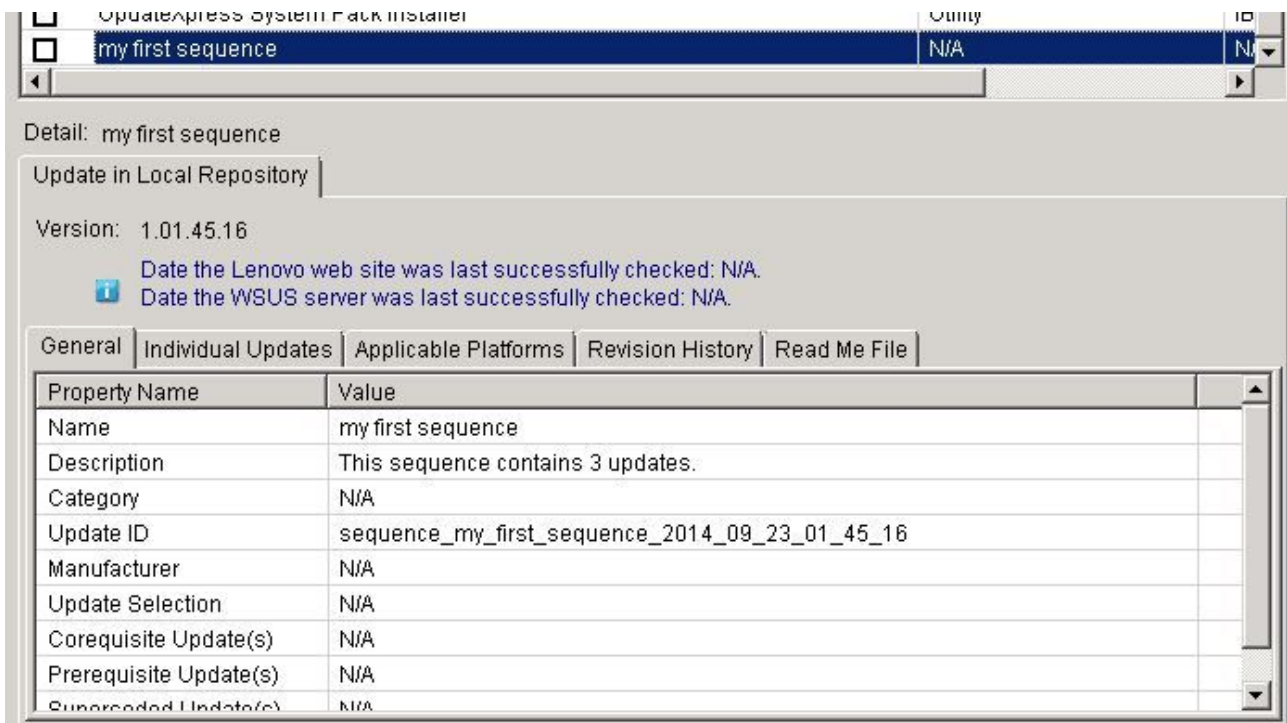


図 6. シーケンス更新の「General (全般)」タブ

「Individual Updates (個別更新)」タブには、下図のように、更新の順次リストが示されます。

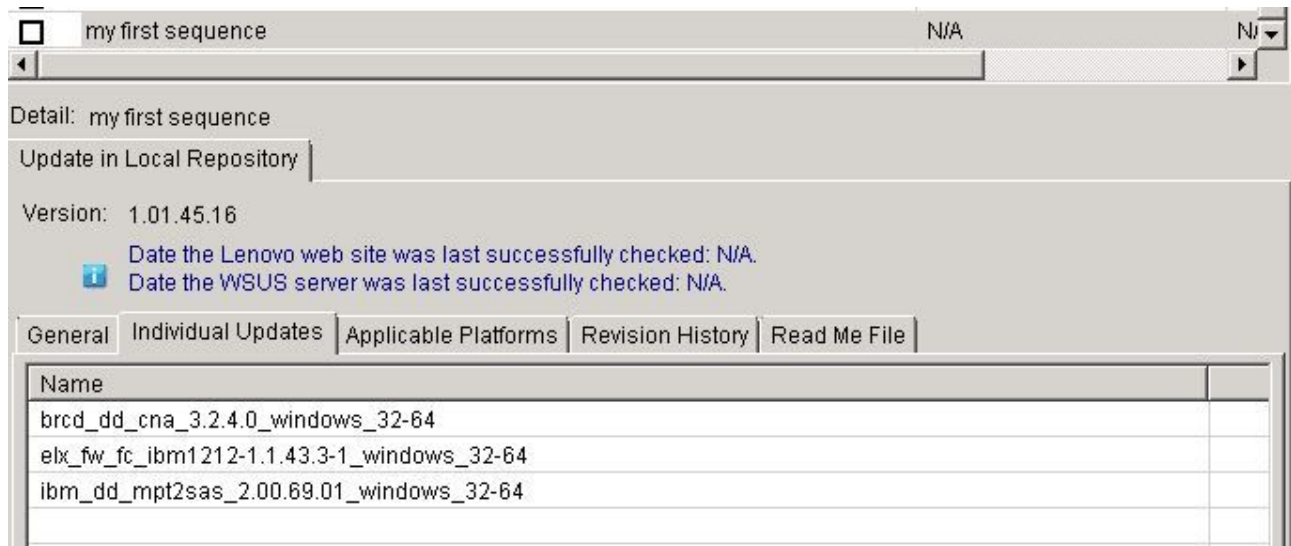


図7. 「Individual Updates (個別更新)」タブ

Windows Server Update Services 更新の検査

このセクションのトピックでは、Windows Server Update Services (WSUS) サーバーからの更新を検査する方法について説明します。

WSUS サーバーからの更新を確認する場合、次の2つの方法があります。

- Windows Server Update Services からのすべての更新を検査する。
- Windows Server Update Services から選択した更新を検査する。

Windows Server Update Services からのすべての更新の確認

このトピックでは、Windows Server Update Services (WSUS) からのすべての更新を確認する方法について説明します。

このタスクについて

この操作を行うには、インターネットへのネットワーク接続とライセンスが必要です。HTTP プロキシを使用してインターネットにアクセスすることも、インターネットに直接接続することも可能です。

手順

ステップ 1. ナビゲーション・ペインで、コンピューター名をクリックします。

ステップ 2. 「Action (操作)」リストで、「Check all updates from WSUS (WSUS からのすべての更新の検査)」を選択します。

「WSUS からのすべての更新の検査」操作は終了まで数分かかることがあります。操作の実行中には、進行状況ウィンドウが表示されます。

Windows Server Update Services から選択した更新の検査

以下の手順は、選択した更新が Windows Server Update Services (WSUS) サーバーにあるかどうかを確認する方法を記述したものです。

このタスクについて

この作業を行うには、インターネットへのネットワーク接続と製品ライセンスが必要です。HTTP プロキシを使用してインターネットにアクセスすることも、インターネットに直接接続することも可能です。

手順

ステップ 1. ナビゲーション・ペインで、コンピューター名をクリックします。

ステップ 2. 「Actions (操作)」リストで、「Check selected updates from WSUS server (WSUS サーバーからの選択した更新の検査)」を選択します。

「選択した更新を WSUS サーバーで検査します」操作が実行されている間は、進行状況ウィンドウが表示されます。この操作が完了するまでに数分の時間がかかることがあります。

WSUS サーバー上の更新のバージョンが確認された後で、WSUS 欄にあるバージョンが更新され、「Update on WSUS Server (WSUS サーバー上の更新)」タブに更新の一般情報および WSUS 上のパッケージの情報が表示されます。

Windows Server Update Services で選択した更新を期限切れにする

このトピックでは、Windows Server Update Services (WSUS) からの選択した更新を有効期限切れにする方法について説明します。

このタスクについて

この操作を行うには、インターネットへのネットワーク接続とライセンスが必要です。HTTP プロキシを使用してインターネットにアクセスすることも、インターネットに直接接続することも可能です。WSUS サーバーの構成について詳しくは、9 ページの「「Setup (セットアップ)」ウィザード」を参照してください。

重要：更新を有効期限切れにするオプションは、元に戻すことができません。

手順

ステップ 1. 1 つまたは複数の更新を選択して「OK」をクリックします。

ステップ 2. 「Actions (操作)」リストから、「Expire Selected updates to WSUS (選択した更新を WSUS に対して期限切れにする)」を選択します。「Expire Wizard (期限切れウィザード)」が開きます。

期限切れにする操作が終了すると、バージョンが *Version Number_Expired* に更新されます。「Update on the WSUS (WSUS での更新)」タブの詳細情報が更新され、*State* プロパティ値が *Expired* に変更されます。

選択した更新の削除

選択した更新を Lenovo 更新リポジトリから削除できます。ただし、Lenovo 更新リポジトリから削除された更新は WSUS からは削除されません。

このタスクについて

マシン名をクリックして「Actions (操作)」リストから「Delete selected updates (選択した更新の削除)」を選択します。

「My Machines (マイ・マシン)」ビューを使用したマシン・タイプの追加および削除

「My Machines (マイ・マシン)」ビューには、Lenovo System Updates ツールと連携できるシステム上のマシンのリストが示されます。Lenovo System Updates ツールを使用すれば、マシン・タイプをリストに追加したりリストから削除したりできます。「My Machines (マイ・マシン)」ビューで変更が行われると、「All Updates (すべての更新)」ビューが更新されます。

手順

- ステップ 1. ナビゲーション・ペインで、「**My Machines** (マイ・マシン)」をクリックします。
右ペインに、System Updates ツールによって管理できるマシンのリストが表示されます。
- ステップ 2. 「**Add** (追加)」をクリックして、「**Add New Machine Types** (新規マシン・タイプの追加)」ダイアログ・ボックスを開きます。
- ステップ 3. 1 つまたは複数のマシン・タイプを選択します。新規のマシン・タイプを追加すると同時に、「**Update retrieval action** (更新取得アクション)」リストからオプションを選択します。

更新取得アクションには、次の 3 つのオプションがあります。

- **すぐに Lenovo Web サイトで更新を確認**
- **Copy updates from a local folder to the repository** (更新をローカル・フォルダーからリポジトリにコピーする)
- **Do not take any action at this time as the updates are already located in the repository** (更新が既にリポジトリにあるため、現時点ではアクションを行わない)

更新の比較レポートを生成

更新レポートを生成することにより、System Updates Acquisition and Publishing Tool で管理されている更新を確認できます。「**Generate Updates Comparison Report Wizard** (更新の比較レポート生成ウィザード)」では、ローカル・ディレクトリあるいは共有ネットワーク・ロケーションに CSV ファイルまたは TXT ファイルとして保存できる比較レポートが提供されます。更新レポートには、System Updates Acquisition and Publishing Tool ツールによって管理されている更新のリストが示されます。

手順

- ステップ 1. 「**Start** (スタート)」 → 「**Lenovo System Updates Acquisition and Publishing Tool**」をクリックします。
- ステップ 2. アプリケーション・メニュー・バーで「**Action** (操作)」をクリックし、「**Generate Updates Comparison Report** (更新の比較レポートを生成)」を選択して「**Generate Updates Comparison Report Wizard** (更新の比較レポートを生成ウィザード)」を開始します。
- ステップ 3. 「**Next** (次へ)」をクリックして先に進みます。
「**Generate Updates Comparison Report** (更新の比較レポートを生成)」ページが開きます。
- ステップ 4. 「**Browse** (参照)」をクリックして、エクスポートされたレポートがある場所を選択します。
- ステップ 5. 比較レポートを生成する 1 つ以上のマシン・タイプを選択するか、「**Select All** (すべて選択)」をクリックして使用可能なマシン・タイプをすべて選択し、「**Next** (次へ)」をクリックします。
- ステップ 6. 「**Finish** (終了)」をクリックして「**Generate Updates Comparison Report Wizard** (更新の比較レポートを生成ウィザード)」を閉じます。ステップ 3 で指定したフォルダーに比較レポートが保存されます。

更新デプロイメント結果のジャーナルの表示

以下の手順は、更新のジャーナルを表示する機能を使用して更新デプロイメント結果を生成および表示する方法を記述したものです。この情報は、トラブルシューティングおよび問題診断に役立ちます。

このタスクについて

ジャーナルは以下の情報から構成されます。

- Update ID (更新 ID)
- 更新名
- 更新のバージョン
- インストール日
- デプロイメントの結果
- 詳細

手順

ステップ 1. 「Start (スタート)」 → 「Lenovo System Updates Acquisition and Publishing Tool」をクリックします。

ステップ 2. アプリケーション・メニュー・バーで「Action (操作)」をクリックし、「Remotely View Journal of Update Deployments for Endpoints (エンドポイントの更新デプロイメントのジャーナルをリモート側で表示)」を選択してリモート・クライアントに接続します。
「View journal of updates deployment (更新デプロイメントのジャーナルの表示)」ログイン・ページが開きます。

ステップ 3. このページで以下のリモート・クライアント情報を入力し、「Connect (接続)」をクリックします。

- Computer (コンピューター)
- ユーザー名
- パスワード

System Updates Acquisition and Publishing Tool が正常にリモート・クライアントにログインすると、デプロイメント履歴状態が結果ビューに表示されます。

ステップ 4. 更新のログ・ファイルを開いて表示するには、「Update ID (更新 ID)」をダブルクリックするか、「Update ID (更新 ID)」を選択して Enter キーを押します。ログ・ファイルは以下のファイルのいずれかです。

- result.txt
- Onecli-update-compare.xml
- Onecli-update-flash.xml
- SUAP ログ・ファイル

ステップ 5. 最新のデプロイメント結果を確認するには、「Refresh (最新表示)」をクリックします。

ステップ 6. 「Close (閉じる)」をクリックします。

更新対応のためのクライアントのスキャン

管理対象システムがマシン・ポリシーを受け取ると、対応スキャンがスケジュールされます。Windows Update Agent (WUA) は、Windows Server Update Services サーバーに接続し、更新のリストを受け取り、管理対象システムをスキャンして各更新のインストール済み規則の適用可能性を調査します。

Lenovo 更新には、Windows Management Instrumentation (WMI) およびレジスター・キーの適用可能性を検査するための規則があります。対応情報が SCCM サーバーに返信されます。管理者は、対応情報に基づいて、どの更新が必要であるかを確認することができます。

更新リポジトリの同期

以下の手順は、Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) コンソールを使用して更新リポジトリを同期化する方法を記述したものです。

始める前に

以下のステップでは、SCCM サーバーが環境用に既にセットアップおよび構成されていることを前提としています。SCCM サーバーのセットアップ方法については、[Microsoft System Center Configuration Manager 2012 Web サイト](#)を参照してください。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. Configuration Manager コンソールを起動するには、「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center」 → 「Configuration Manager 2007」 → 「ConfigMgr Console (ConfigMgr コンソール)」 をクリックします。
- ステップ 2. ナビゲーション・ペインで、「Site Database (サイト データベース)」 → 「Computer Management (コンピュータの管理)」 → 「Software Updates (ソフトウェア更新プログラム)」の順に展開します。「Update Repository (更新リポジトリ)」を右クリックし、「Run Synchronization (同期の実行)」を選択します。

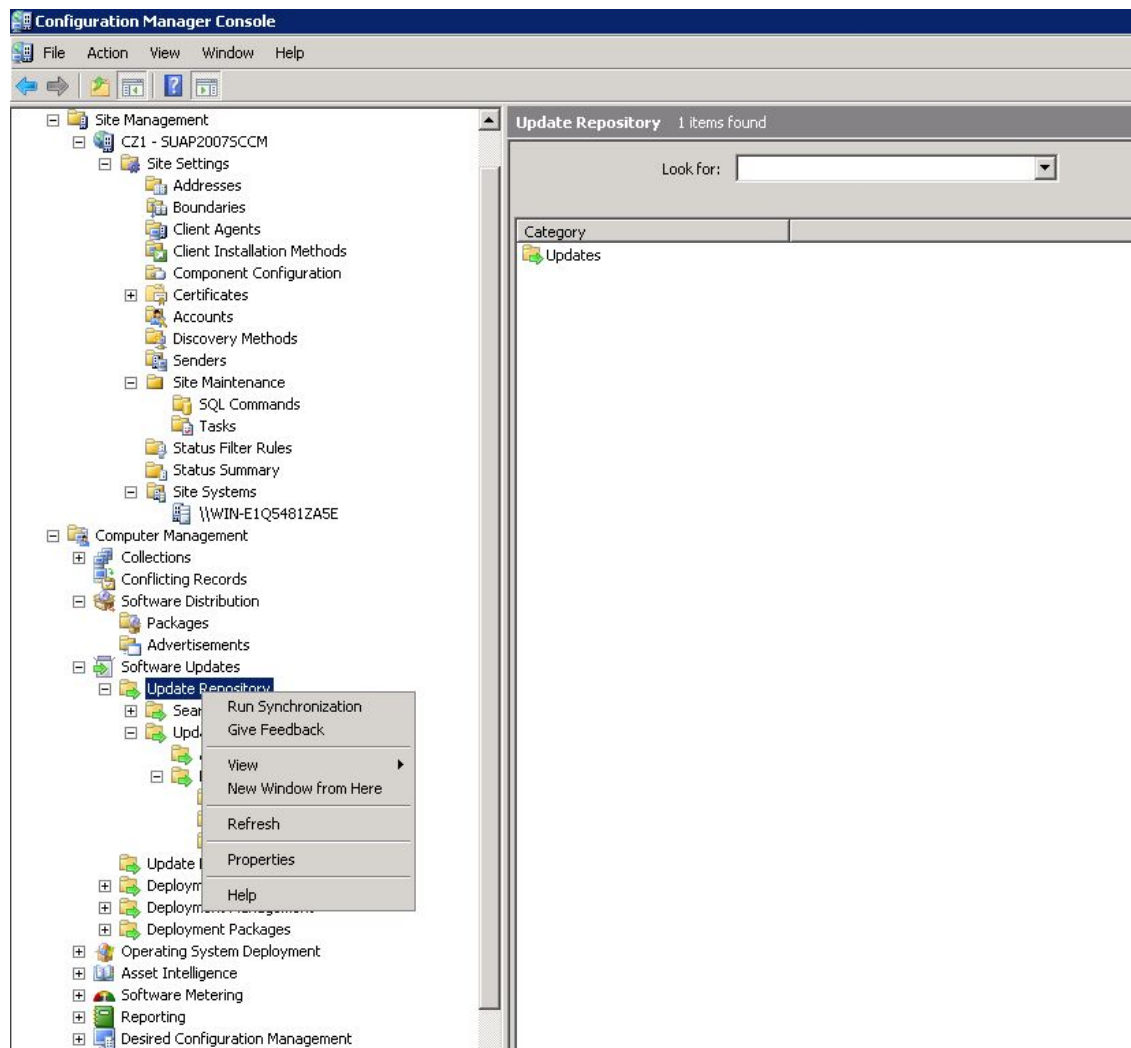


図8. 更新リポジトリの同期

ステップ 3. 「Yes (はい)」 をクリックして、サイト全体でのソフトウェア更新の同期を開始します。

同期化プロセスは終了まで数分かかることがあります。

次に行うこと

以下の手順を実行して、同期ログを表示し、同期が正常に完了したかどうかを判別できます。

1. ナビゲーション・ペインで、「Site Database (サイト データベース)」 → 「System Status (システム・ステータス)」 → 「Site Status (サイトのステータス)」の順に展開します。「site server (サイト・サー

- バー)を展開して、「**Component Status (コンポーネントのステータス)**」を選択します。SCCM サーバーのコンポーネントおよび各コンポーネントの状況のリストが、結果ペインに表示されます。
2. 結果ペインで、「**SMS_WSUS_SYNC_MANAGER**」を右クリックして選択し、「**Show Messages (メッセージを表示)**」 → 「**All (すべて)**」をクリックします。サイト・サーバーの「**SMS Status Message Viewer (SMS ステータス メッセージ ビューアー)**」ウィンドウが開き、Windows Server Update Services (WSUS) Sync Manager のステータス・メッセージが表示されます。同期処理が開始された時刻、進行中であった時刻、完了した時刻を示す最新のメッセージに注目してください。
 3. 同期が正常に完了した後、「**All Updates (すべての更新)**」フォルダー内の「**Lenovo**」フォルダーを右クリックし、「**Refresh (最新表示)**」を選択して、Lenovo フォルダーを最新の情報に更新します。

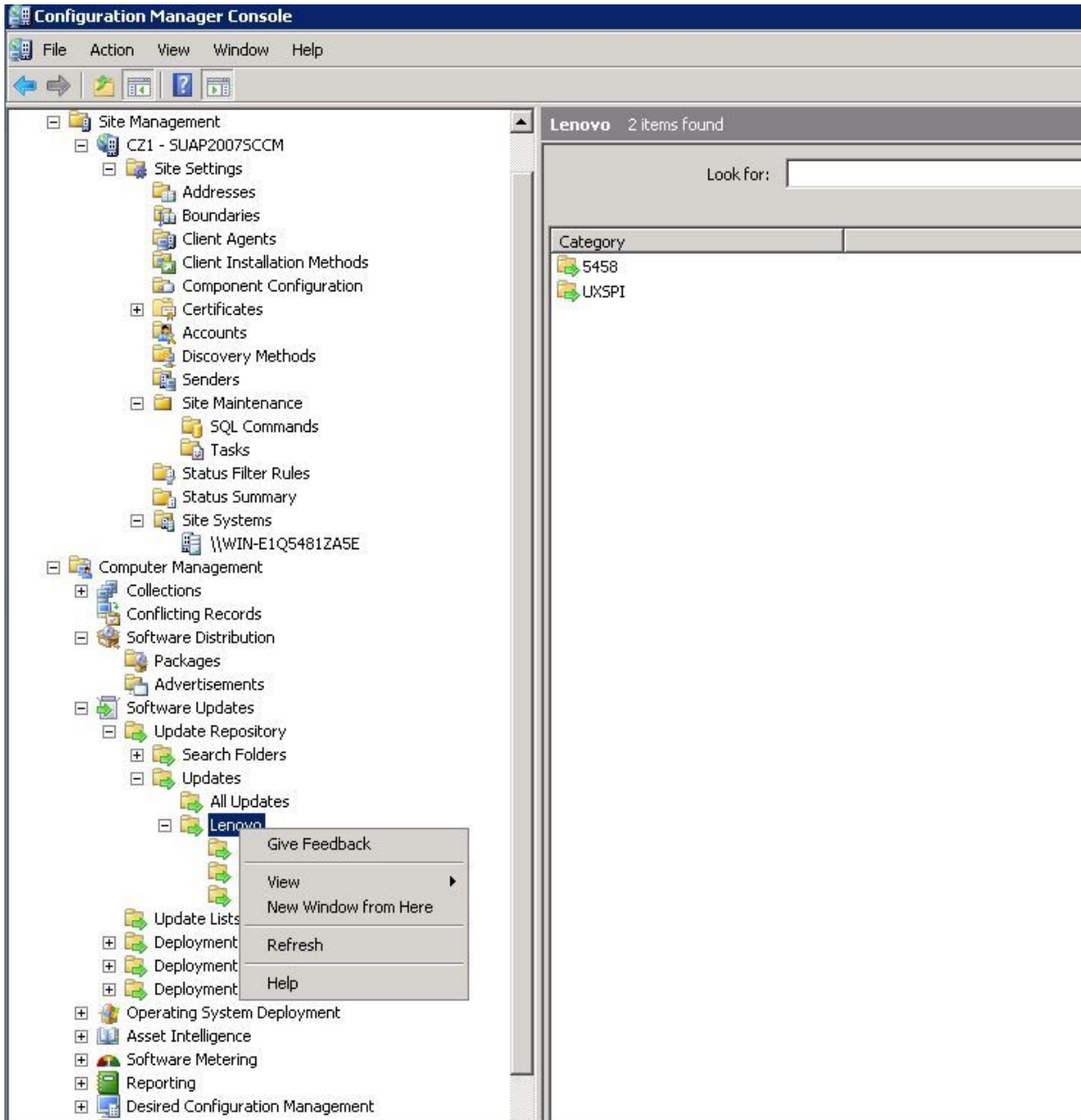


図9. Lenovo フォルダーの更新

公開された更新は、Lenovo フォルダーの下の対応するマシン・タイプのフォルダーに表示されます (次の図を参照)。

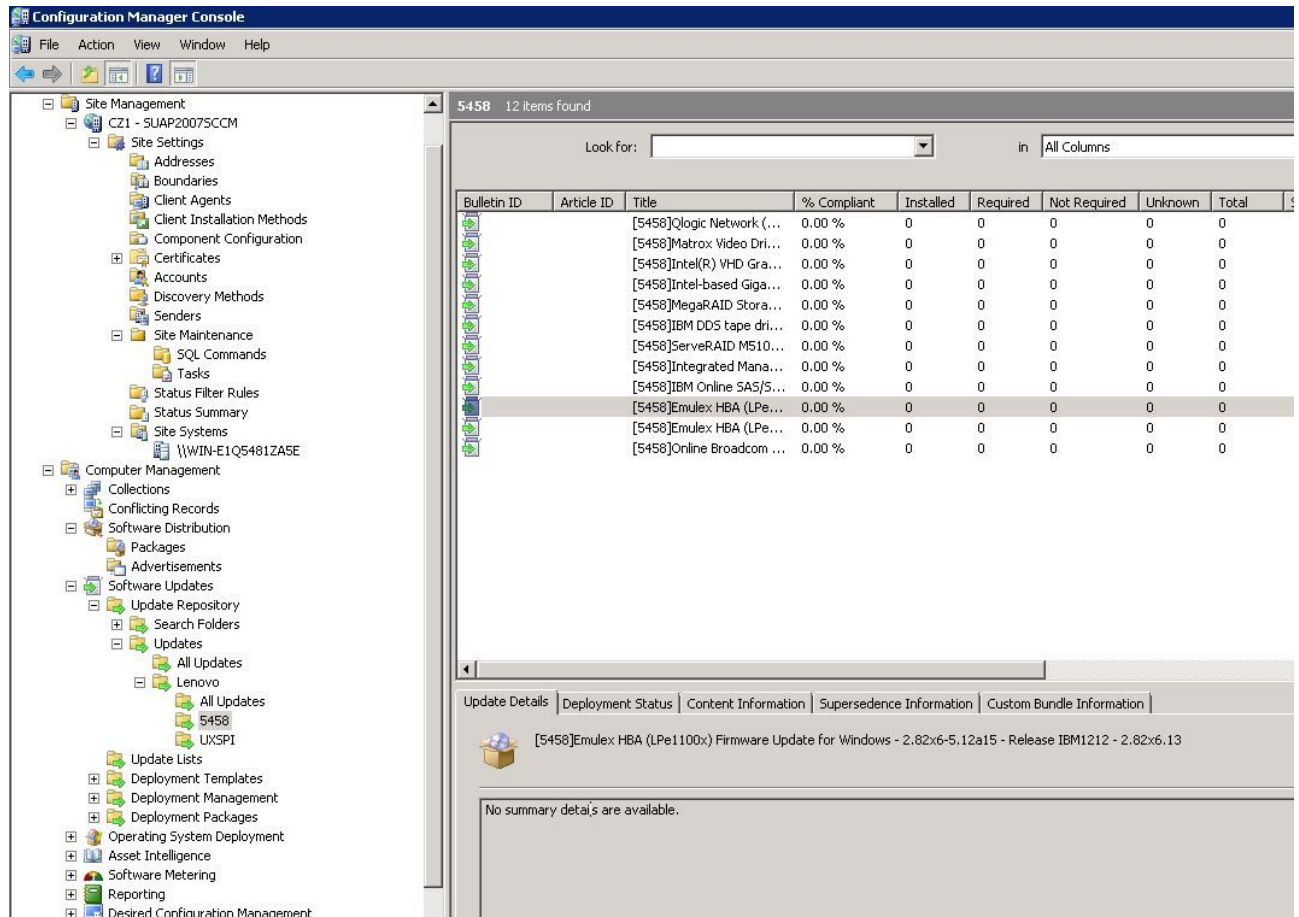


図 10. 公開された更新の表示

更新が対応するクライアントにデプロイされた後、クライアント・システムでの次のソフトウェア更新スキャン中に、クライアントはサイト・データベースに対して、更新が適用可能であるか、各クライアントにインストール済みであるかを報告します。管理者は、報告されたデータを参照し、以下の情報に基づいて、どの更新を配布する必要があるかを決定することができます。

インストール済み

更新がインストールされたことを報告しているクライアントの数が示されます。

必須

更新が適用可能であり、まだインストールされていないこと、またはインストール状況がサイト・サーバー・データベースに達していないことを報告しているクライアントの数が示されます。

不要

更新が適用されないクライアントの数が表示されます。

不明

ソフトウェア更新の対応のスキャンが正常に完了していない、あるいはスキャン結果がサイト・サーバーに報告されていないクライアントの数が示されます。

重要：OneCLIは、その他のすべてのLenovo更新の前提条件です。他のすべてのLenovo更新の前に、このパッケージをクライアント・システムにデプロイする必要があります。クライアント・システムに

OneCLI パッケージがデプロイされていない場合、そのクライアント・システム上では、他の Lenovo 更新が「**Not Required** (不要)」とマークされます。OneCLI パッケージが正常にデプロイされた後、ある更新がクライアント・システムにデプロイされていない場合は、更新のコンプライアンス結果に「**Required** (必須)」のマークが付けられます。

Microsoft System Center Configuration Manager での Lenovo 更新のデプロイ

配布する必要がある更新が判別されると、Lenovo 更新が選択され、デプロイメント・パッケージを作成することによってそれらがクライアント・システムに配布されます。

ターゲット・コレクションのクライアントが管理ポイントから新規の展開を受け取ると、クライアントは、必要なソフトウェア更新バイナリーを含む展開パッケージがある配布ポイントから、ソフトウェア更新をダウンロードします。その後、バイナリーがクライアントにインストールされ、対応ステータスがサイト・サーバーに報告されます。

ダウンロードおよび公開のフェーズは、System Updates Acquisition and Publishing Tool によって実行されます。このセクションのトピックでは、Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates ソリューションを導入するために、上記の順序を使用します。

システム更新ポイント役割の追加

このトピックでは、Microsoft System Center Configuration Manager に「**System Update Point Role** (システム更新ポイント役割)」を追加する手順を説明します。

始める前に

ナビゲーション・ペインで、「**System Status** (システム・ステータス)」 → 「**Site Setup** (サイトのセットアップ)」をクリックすると、「**Site System Status** (サイトシステムのステータス)」および「**Component Status** (コンポーネントのステータス)」を確認できます。すべての項目の「**Site System Status** (サイトシステムのステータス)」および「**Component Status** (コンポーネントのステータス)」が正常に機能している場合、SCCM サーバー・ステータスは「**OK**」と表示されます。

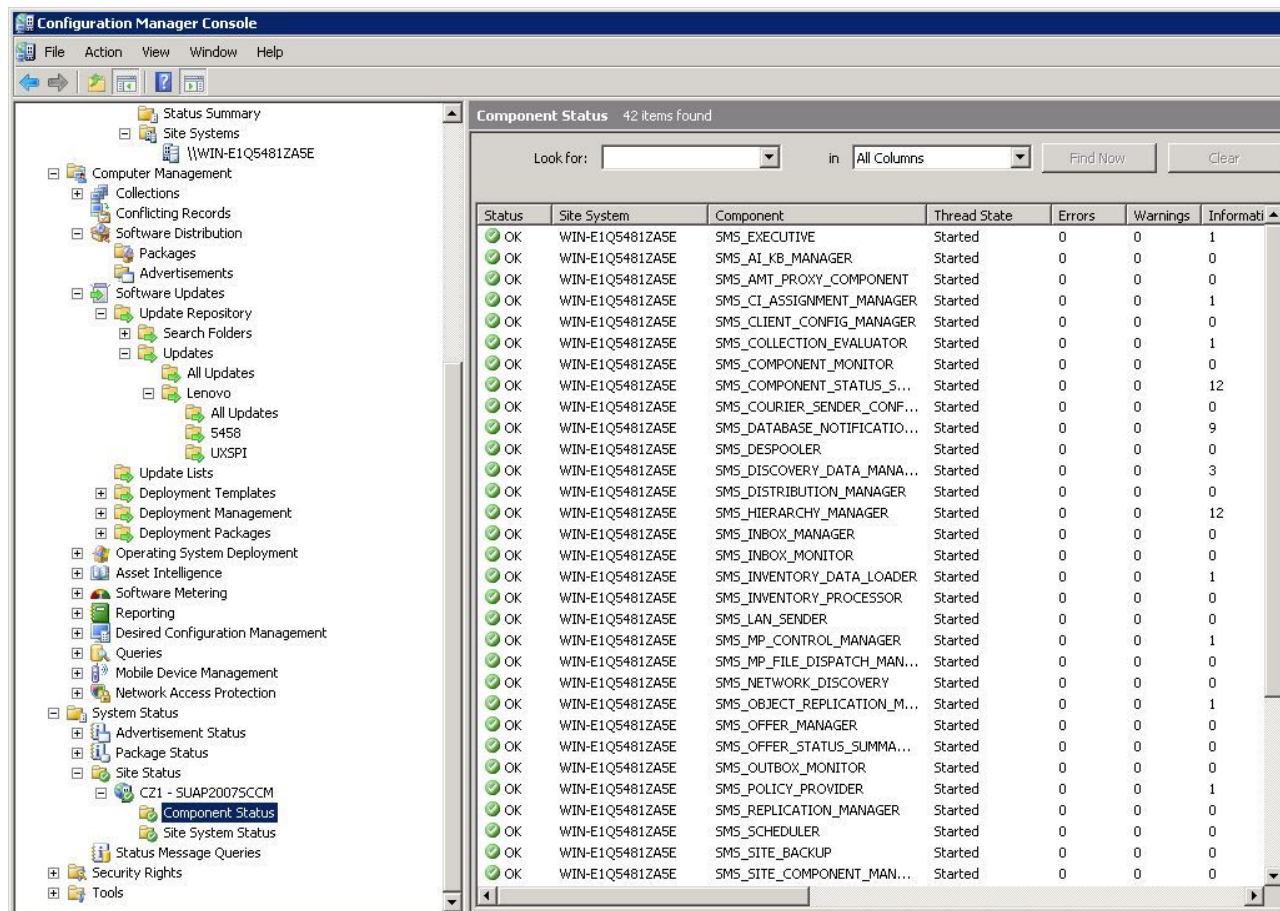


図 11. コンポーネントのステータス

手順

- ステップ 1. SCCM のナビゲーション・ペインで、「Site Database (サイト データベース)」 → 「Site Management (サイトの管理)」 → %Site Name% (%サイト名%) → 「Site Settings (サイト設定)」 → 「Site Systems (サイト システム)」 の順に展開し、<%Site Name% (%サイト名%)> を右クリックして、「New Role (新しい役割)」を選択します。
「New Site Role Wizard (サイトの役割の新規作成ウィザード)」が開きます。

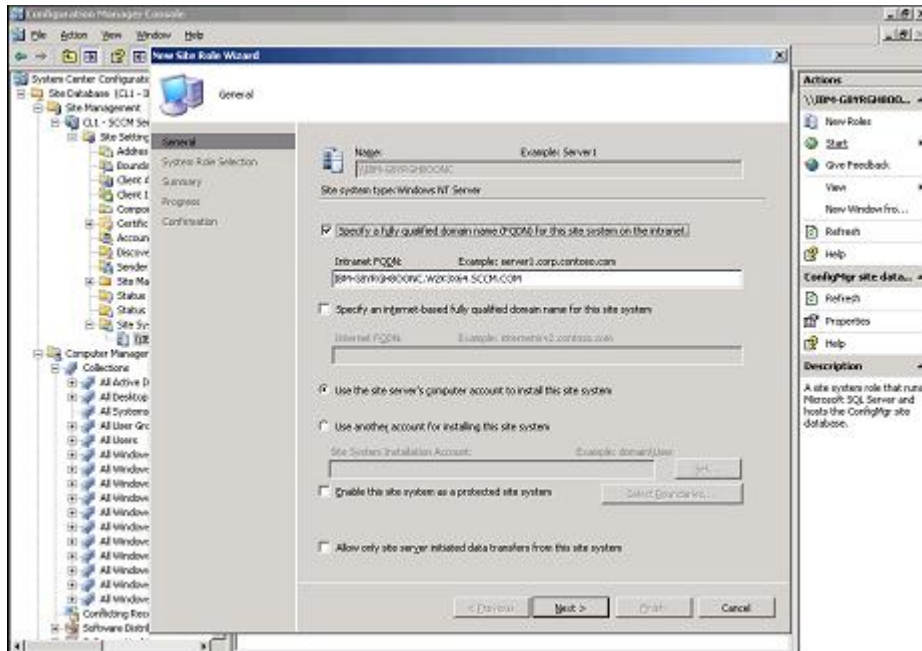


図 12. システム更新サービス・ポイントの構成

ステップ 2. 「Next (次へ)」 をクリックします。

ステップ 3. **System Update Service Point role** (System Update サービス・ポイントの役割) を選択し、デフォルト設定を選択してシステム構成サービス・ポイントを構成します。

- クライアント・システムを検出して、SCCM サーバーを介して管理エージェントをインストールします。
- クライアント・システム上で Windows Server Update Services (WSUS) 自己署名証明書を構成します。

注：SCCM の管理対象クライアント・システムには、「**Trusted Root Certification Authorities** (信頼されたルート証明機関)」フォルダー内に Windows Server Update Services Publishers Self-signed 証明書があります。

- Windows グループ・ポリシー・エディターを使用して、SCCM クライアント上で「Allow Signed Content from intranet Microsoft update service location (イントラネットの Microsoft 更新サービスの保存場所にある署名済みコンテンツを許可する)」グループ・ポリシーにチェックします。
- クライアント・コンピューター上でグループ・ポリシーを構成します。

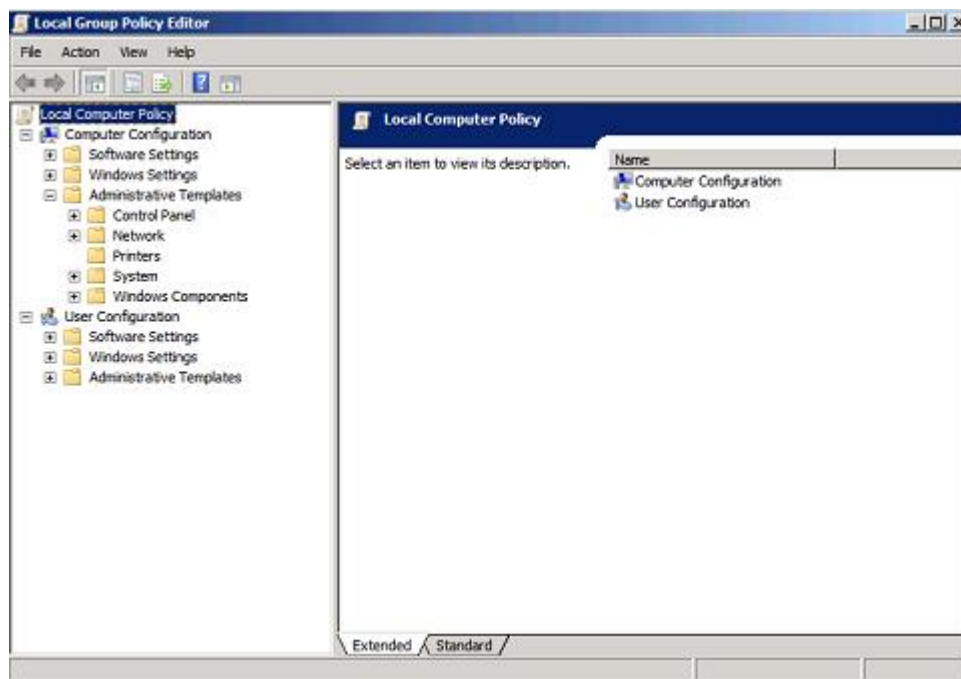


図 13. ローカル・コンピューター・ポリシーの構成

1. SCCM の管理対象クライアントのオペレーティング・システムで、「Start (スタート)」をクリックして「Run (ファイル名を指定して実行)」を選択します。
2. 「GPEDIT.MSC」と入力して「OK」をクリックします。
3. 「Computer Configuration (コンピュータの構成)」 → 「Administrative Templates (管理用テンプレート)」 → 「Windows Components (Windows コンポーネント)」 → 「Windows Update」を展開します。

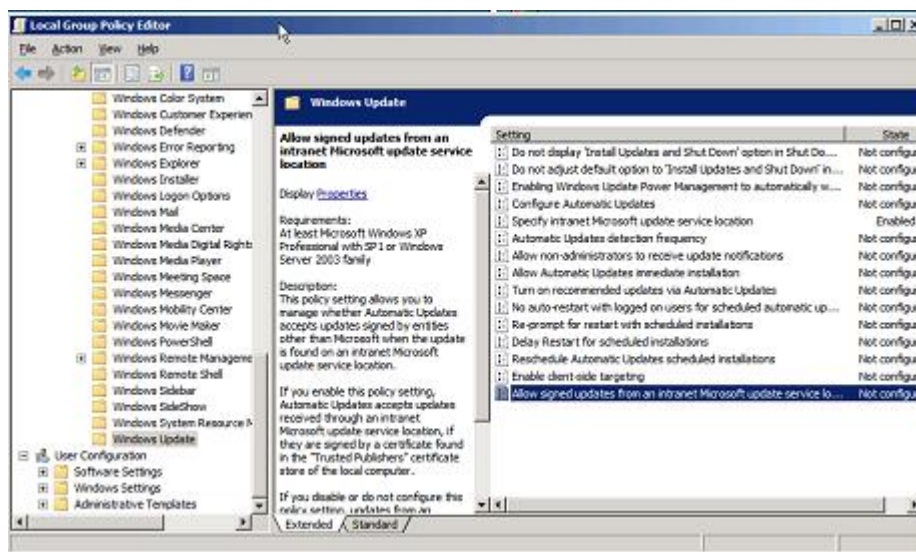


図 14. イン트라ネットの Microsoft 更新サービスの保存場所にある署名済み更新を許可する

4. 「Allow signed content from intranet Microsoft update service location (イントラネットの Microsoft 更新サービスの保存場所にある署名済みコンテンツを許可する)」をダブルクリックします。
5. 「Enabled (有効)」を選択して「OK」をクリックします。グループ・ポリシー・エディターを閉じます。

ステップ 4. Lenovo 更新を SCCM クライアントにデプロイする前に、Microsoft .NET Framework バージョン 4.0 以降が SCCM クライアントにインストールされていることを確認してください。

SCCM サーバーから SCCM クライアントへの OneCLI のデプロイ

OneCLI は、その他のすべての Lenovo 更新の前提条件です。これは、他のすべての Lenovo 更新の前にクライアント・システムにデプロイする必要があります。

OneCLI がアップグレードされて、何らかの更新が Windows Server Update Services (WSUS) サーバーに公開され、より新しい OneCLI パッケージが存在することになると、SCCM サーバー上の古い OneCLI パッケージは、その新しい OneCLI に置き換えられます。

以下のトピックでは、パッケージが新しい OneCLI バージョンにアップグレードする場合に、さまざまな状況でパッケージをデプロイする 3 つの方法について説明します。

古い OneCLI がデプロイされていないときに SCCM サーバーから SCCM クライアントに OneCLI をデプロイ

以下の手順では、旧 OneCLI パッケージが以前にデプロイされていない場合に、OneCLI パッケージを SCCM サーバーから SCCM クライアントにデプロイする方法を説明します。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. Configuration Manager コンソールを起動するには、「Start (スタート)」→「All Programs (すべてのプログラム)」→「Microsoft System Center」→「Configuration Manager 2007」→「ConfigMgr Console (ConfigMgr コンソール)」をクリックします。
- ステップ 2. ナビゲーション・ペインで、「Site Database (サイト データベース)」→「Computer Management (コンピュータの管理)」→「Software Updates (ソフトウェア更新プログラム)」→「Update Repository (リポジトリの更新)」→「Updates (更新)」→「Lenovo」→「OneCLI」の順に展開します。結果ペインで、デプロイする OneCLI を右クリックして、「Deploy Software Updates (ソフトウェア更新プログラムの展開)」を選択します。

「Deployment Software Updates Wizard (ソフトウェアの更新の展開ウィザード)」が開きます。

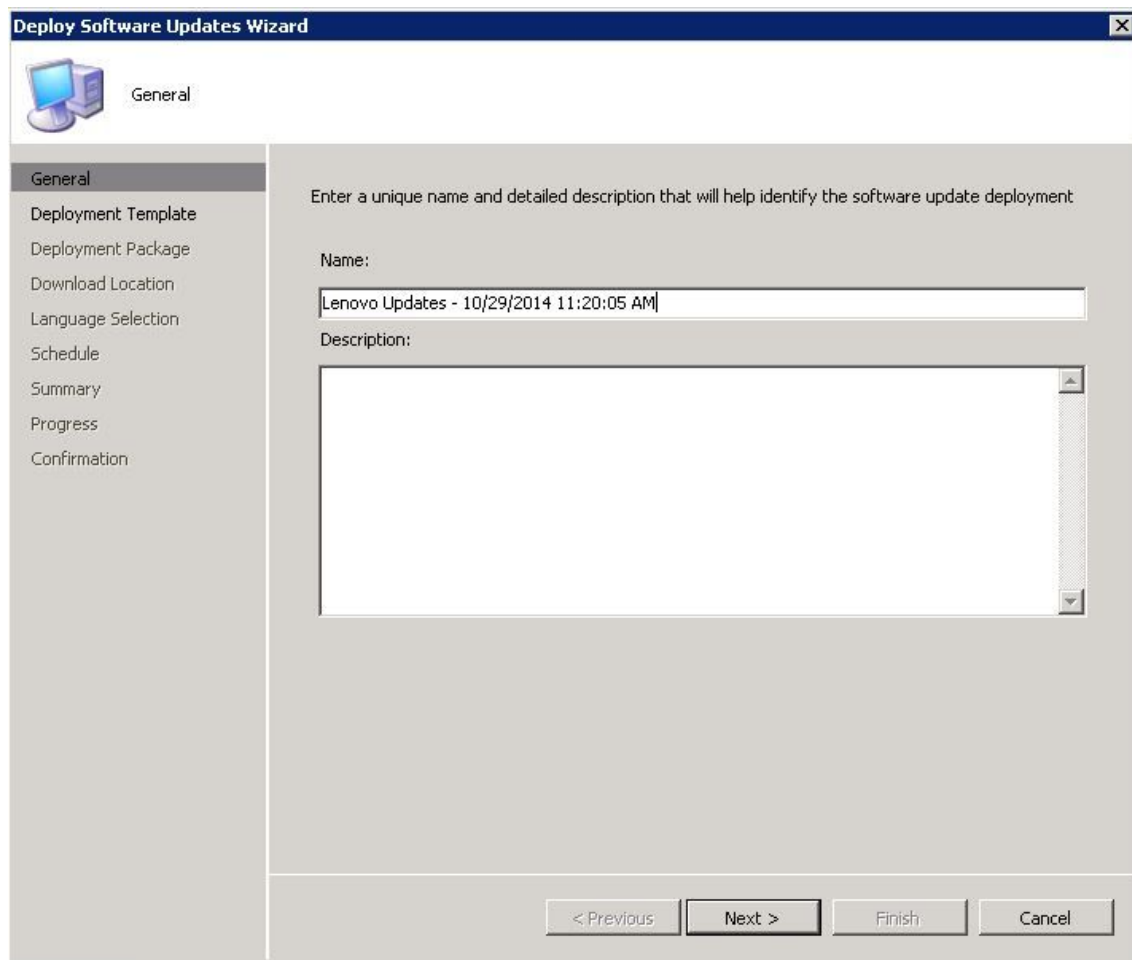


図 15. ソフトウェアの更新のデプロイ・ウィザード - 全般

ステップ 3. 「Deploy Software Updates Wizard (ソフトウェアの更新のデプロイ・ウィザード)」 ページで、以下の情報を入力し、「Next (次へ)」をクリックします。

- a. 「Name (名前)」
- b. 「Description (説明)」

「Deployment Template (デプロイメント・テンプレート)」 ページが表示されます。

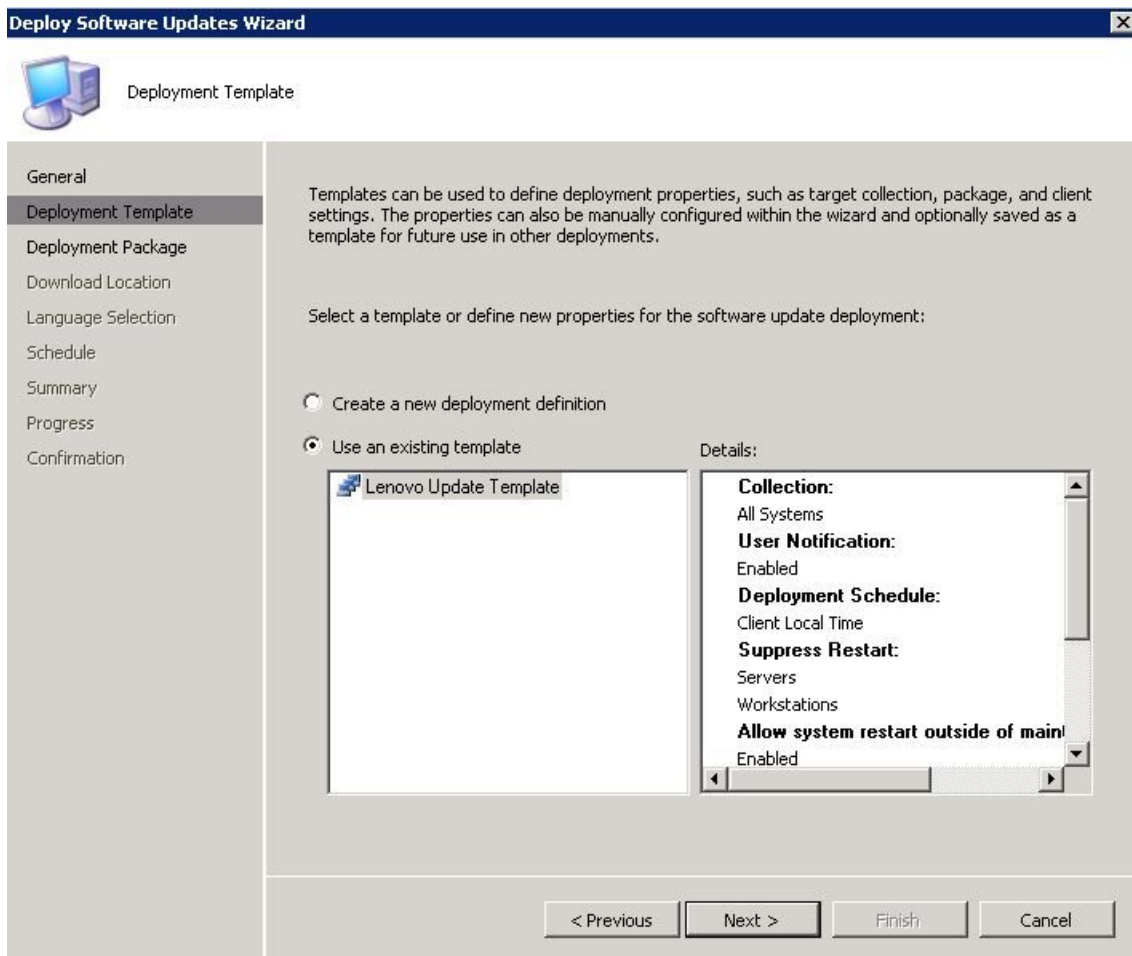


図 16. 「Deployment Software Updates Wizard (ソフトウェアの更新のデプロイメント・ウィザード)」のテンプレート

- ステップ 4. 「Create a new deployment definition (新しい展開の定義を作成する)」を選択して、「Next (次へ)」をクリックします。
「Deployment Package (展開パッケージ)」ページが表示されます。

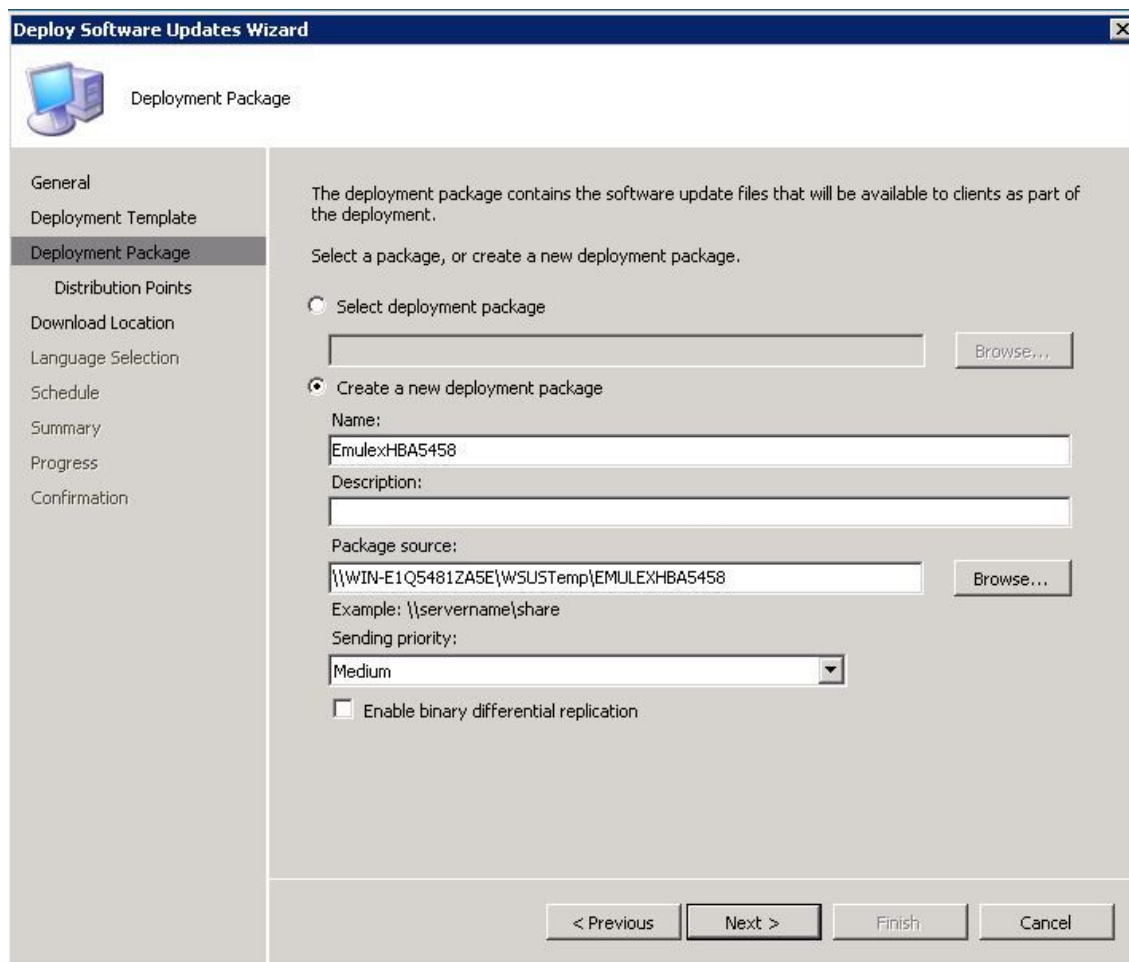


図 17. 展開パッケージ

- ステップ 5. 「Deployment Package (展開パッケージ)」 ページで、以下の情報を入力し、「Next (次へ)」をクリックします。
- 「Name (名前)」フィールドに SEP の名前を入力します。
 - 「Browse (参照)」をクリックしてパッケージ・ソース・ファイルの場所を選択します。
 - 「Sending priority (送信の優先順位)」フィールドで「Priority (優先順位)」を選択します。
- 「Download Location (ダウンロード場所)」ページが表示されます。

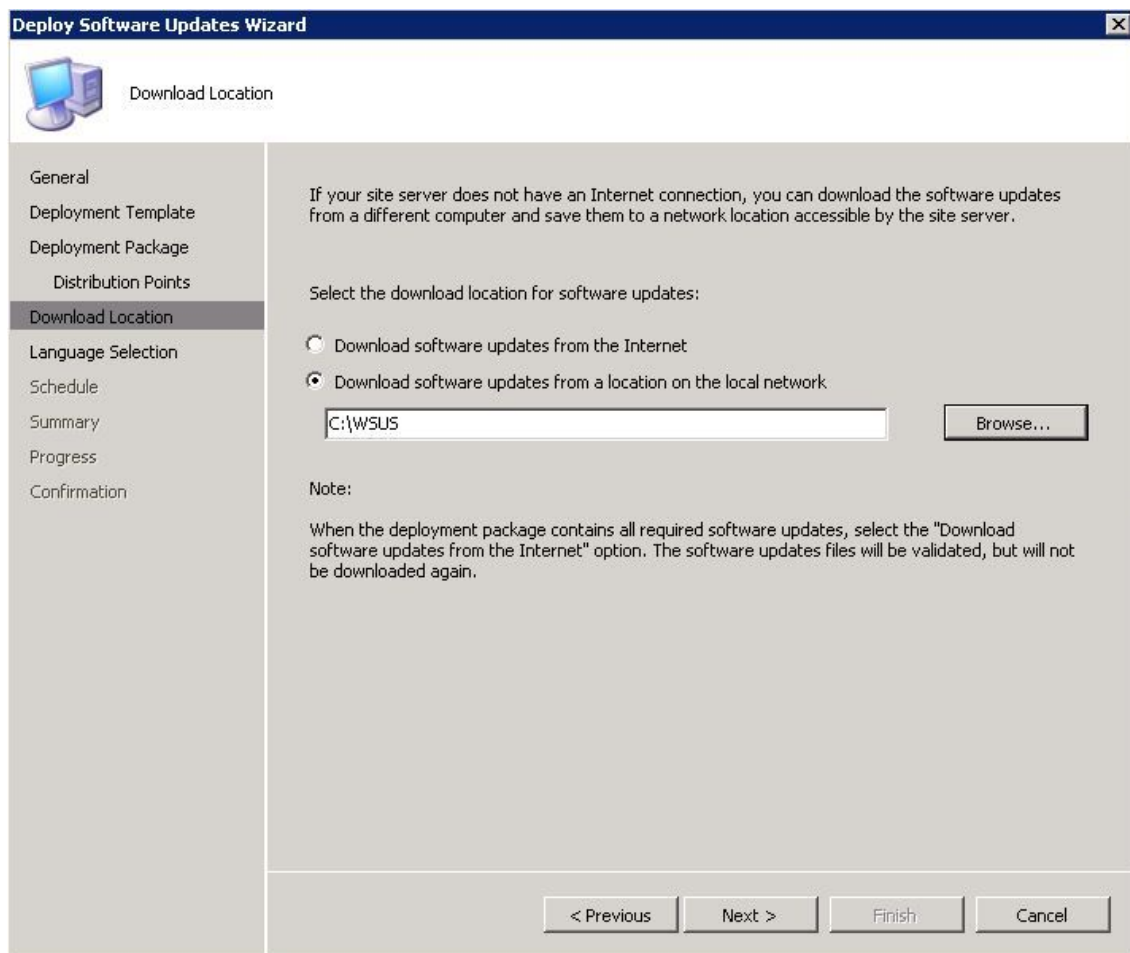


図 18. ダウンロード場所

- ステップ 6. 「**Download software updates from a location on the local network** (ソフトウェア更新をローカル・ネットワーク上の場所からダウンロード)」をクリックして、ソフトウェア更新のダウンロード場所を選択します。
- ステップ 7. 「**Browse** (参照)」をクリックしてソフトウェア更新ファイルを選択し、「**Next** (次へ)」をクリックします。
「Deployment Schedule (展開スケジュール)」ページが表示されます。

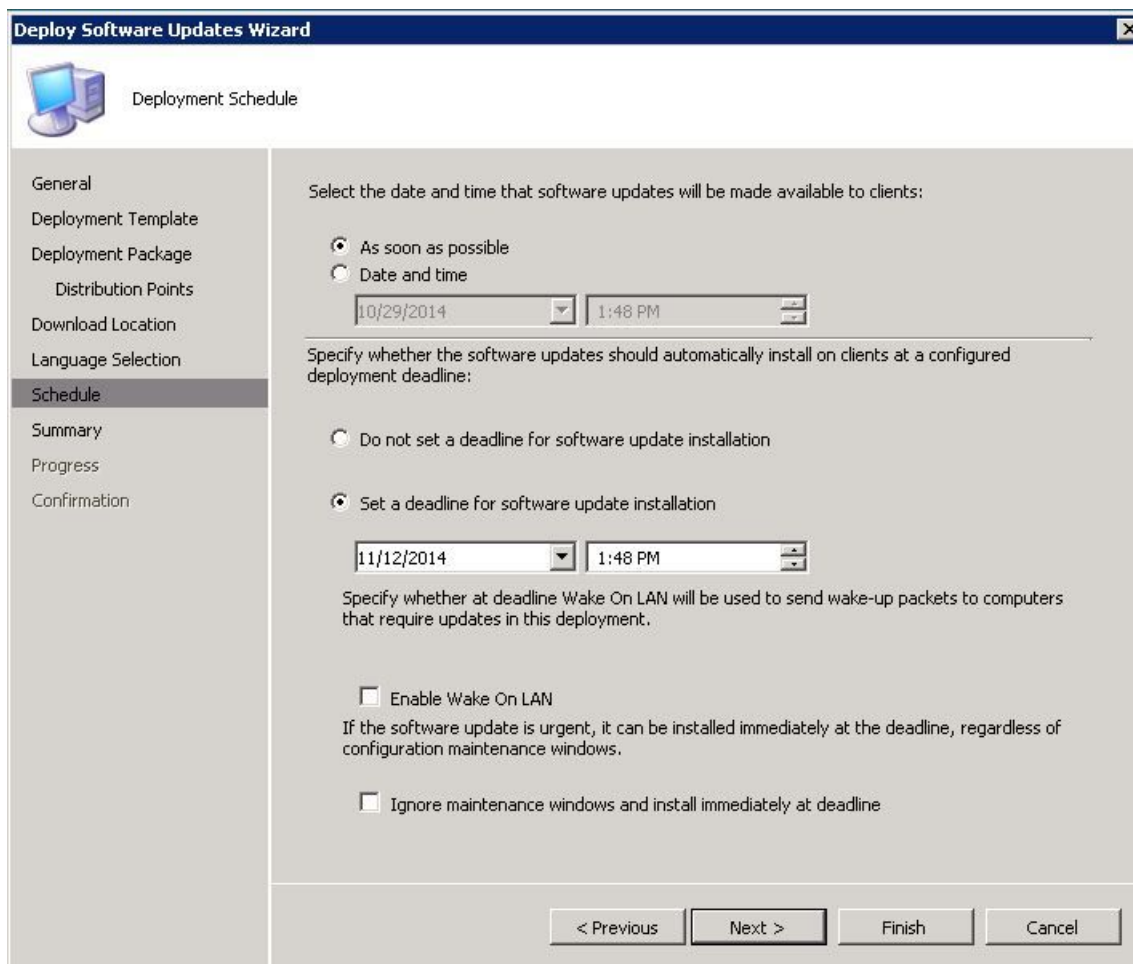


図 19. 展開スケジュール

ステップ 8. 「Deployment Schedule (展開スケジュール)」 ページで、以下の選択を行って「Next (次へ)」をクリックします。

- クライアント上でソフトウェア更新が使用可能になる日時を選択します。
- ソフトウェア更新のインストール期限を設定します。
- ソフトウェア更新が緊急の場合は、**Wake on LAN** を有効にします。
- 「**Ignore maintenance schedule and install immediately on deadline** (保守スケジュールを無視し、期日に直ちにインストールする)」を有効にします。

展開が完了すると、状況が表示されます。

ステップ 9. 「Close (閉じる)」をクリックして、「Deploy Software Updates Wizard (ソフトウェアの更新のデプロイ・ウィザード)」を閉じます。

SCCM サーバーから SCCM クライアントへの OneCLI のデプロイ (旧バージョンの OneCLI がデプロイされている場合)

このセクションのトピックでは、古い OneCLI パッケージがデプロイされている状態で OneCLI をアップグレードしている場合に、System Center Configuration Manager (SCCM) サーバーから SCCM クライアントに OneCLI をデプロイする 3 つの方法について説明します。

方法 1: OneCLI の新しいバージョンをデプロイしてアップグレードする

以下の手順で、OneCLI の新しいバージョンをデプロイしてアップグレードする方法を説明します。

始める前に

このシナリオのデプロイメントには 3 つの方法があります。このリリースでは、方法 2 が推奨されます。

古い OneCLI の展開のアドバタイズメントおよび展開パッケージを削除し、新規の OneCLI 展開パッケージを作成します。SCCM サーバーから SCCM クライアントに OneCLI をデプロイするには、以下のステップを実行します。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. Configuration Manager コンソールを起動するには、「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center」 → 「Configuration Manager 2007」 → 「ConfigMgr Console (ConfigMgr コンソール)」 をクリックします。
- ステップ 2. 「Deployment Management (展開パッケージ)」にある古い OneCLI デプロイメント・パッケージを右クリックし、「Delete (削除)」を選択します。
- ステップ 3. 「OneCLI machine (OneCLI マシン)」 カテゴリーの下でデプロイする OneCLI パッケージを右クリックして、「Deploy Software Updates (ソフトウェアの更新のデプロイ)」を選択します。

方式 2: 新規パッケージと古いパッケージが共存する場合の OneCLI のデプロイとアップグレード

以下の手順は、新旧の OneCLI デプロイメント・パッケージが共存する場合に、OneCLI バージョンにアップグレードする際のパッケージのデプロイ方法の手順を説明したものです。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. Configuration Manager コンソールを起動するには、「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center」 → 「Configuration Manager 2007」 → 「ConfigMgr Console (ConfigMgr コンソール)」 をクリックします。
- ステップ 2. 「OneCLI machine (OneCLI マシン)」 カテゴリーで、デプロイする 「OneCLI」 を右クリックして 「Deploy Software Updates (ソフトウェアの更新のデプロイ)」 を選択します。

「Deployment Software Updates Wizard (ソフトウェアの更新の展開ウィザード)」が開きます。

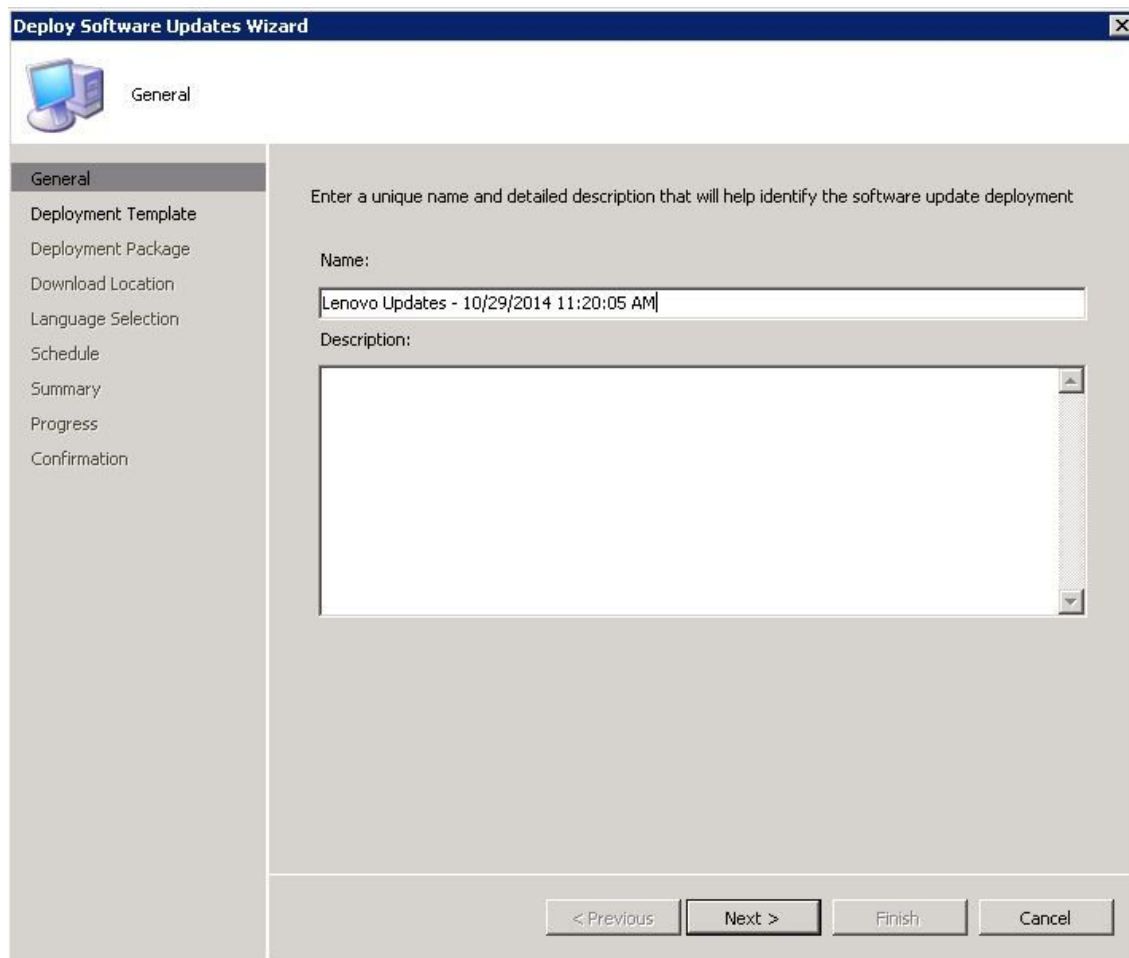


図 20. ソフトウェアの更新のデプロイ・ウィザード - 全般

ステップ 3. デプロイメントを完了するには、36 ページの「古い OneCLI がデプロイされていないときに SCCM サーバーから SCCM クライアントに OneCLI をデプロイ」のステップ 3 からステップ 9 までに従います。

方法 3: 既存のパッケージに新しいバージョンを追加することで OneCLI をデプロイしてアップグレードする
以下の手順は、新しい OneCLI パッケージを既存の OneCLI デプロイメント・パッケージに追加することで、新しい OneCLI バージョンにアップグレードする場合のパッケージのデプロイ方法を説明したものです。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. Configuration Manager コンソールを起動するには、「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center」 → 「Configuration Manager 2007」 → 「ConfigMgr Console (ConfigMgr コンソール)」 をクリックします。
- ステップ 2. 「OneCLI machine (OneCLI マシン)」 カテゴリで、デプロイする 「OneCLI」 を右クリックして 「Deploy Software Updates (ソフトウェアの更新のデプロイ)」 を選択します。
- ステップ 3. 次の情報を入力して 「Next (次へ)」 をクリックします。

- a. 「Name (名前)」フィールドに固有の名前を入力します。
 - b. 「Description (説明)」フィールドに、ソフトウェア更新の展開を識別するための詳細な説明を入力します。
- ステップ 4. 「Create a new deployment definition (新しい展開の定義を作成する)」または「use an existing template (既存のテンプレートを使用する)」をクリックします。「Next (次へ)」をクリックします。
- ステップ 5. 「Select Deployment Package (デプロイメント・パッケージを選択する)」を選択し、「Browse (参照)」をクリックして既存の OneCLI デプロイメント・パッケージを選択します。
- ステップ 6. ソフトウェア更新デプロイ・ウィザードのウィンドウが表示される場合は、以下の操作を行います。- a. 「Name (名前)」フィールドにパッケージ名を入力します。
- b. 「Description (説明)」フィールドに、ソフトウェア更新のデプロイメントを識別するための詳細な説明を入力します。
- c. 「Next (次へ)」をクリックします。

「Deployment Template (デプロイメント・テンプレート)」ウィンドウが表示されます。

ステップ 7. 「Create a new deployment definition (新しい展開の定義を作成する)」を選択して、「Next (次へ)」をクリックします。

「Deployment Package (デプロイメント・パッケージ)」ウィンドウが表示されます。

ステップ 8. 「Deployment Package (デプロイメント・パッケージ)」ウィンドウで、以下の手順を実行します。- a. 「Name (名前)」フィールドにパッケージ名を入力します。
- b. 「Browse (参照)」をクリックしてパッケージを選択します。
- c. 「Sending priority (送信の優先順位)」フィールドで「Priority (優先順位)」を選択します。
- d. 「Next (次へ)」をクリックします。

「Download Location (ダウンロード場所)」ウィンドウが表示されます。

ステップ 9. 「Download Location (ダウンロード場所)」ウィンドウで、以下の手順を実行します。- a. 「Download software updates from a location on the local network (ソフトウェア更新をローカル・ネットワーク上の場所からダウンロード)」をクリックして、ソフトウェア更新のダウンロード場所を選択します。
- b. 「Browse (参照)」をクリックしてソフトウェア更新ファイルを選択します。
- c. 「Next (次へ)」をクリックします。

「Deployment Schedule (デプロイメント・スケジュール)」ウィンドウが表示されます。

ステップ 10. 「Deployment Schedule (デプロイメント・スケジュール)」ウィンドウで、以下の手順を実行します。- a. クライアント上でソフトウェア更新が使用可能になる日時を設定します。
- b. ソフトウェア更新のインストール期限を設定します。
- c. ソフトウェア更新を今すぐデプロイする場合は、「Wake on LAN」を選択します。
- d. 「Ignore maintenance schedule and install immediately on deadline (保守スケジュールを無視し、期日に直ちにインストールする)」を選択します。
- e. 「Next (次へ)」をクリックします。

ステップ 11. デプロイメントに成功したら、「Close (閉じる)」をクリックします。

第 6 章 Microsoft System Center Operations Manager 2012 以降のバージョンの使用

このセクションのトピックでは、Microsoft System Center Operations Manager 2012 以降のバージョンを使用して更新を管理およびデプロイする方法について説明します。

ソフトウェア更新の同期

ソフトウェア更新の同期方法について以下の手順で説明します。

始める前に

System Center Configuration Manager(SCCM) サーバーが環境に合わせて事前にセットアップおよび構成されていなければなりません。

手順

- ステップ 1. Configuration Manager コンソールを起動するには、「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center」 → 「Configuration Manager」 → 「Configuration Manager Console (Configuration Manager コンソール)」をクリックします。
- ステップ 2. ナビゲーション・ペインで、「Software Library (ソフトウェア・ライブラリー)」 → 「Overview (概要)」 → 「Software Updates (ソフトウェア更新プログラム)」の順に展開します。

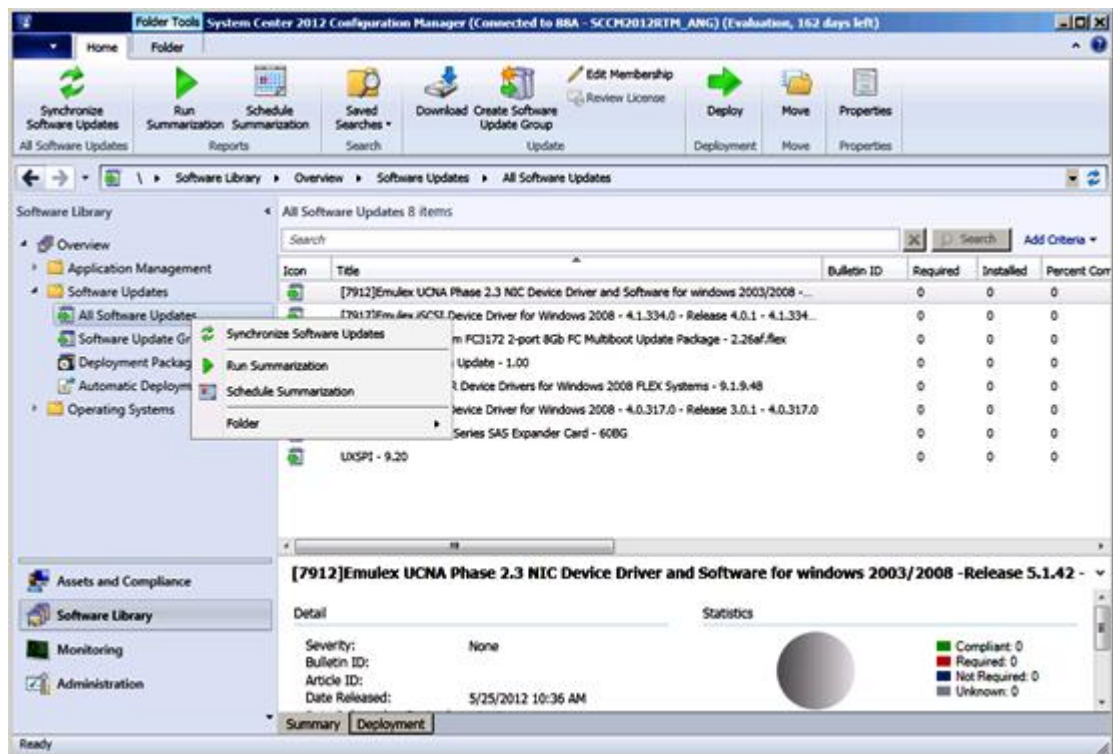


図 21. 更新リポジトリの同期

- ステップ 3. 「ソフトウェア更新プログラム」を展開し、「All Software Updates (すべてのソフトウェア更新プログラム)」を右クリックして、「Synchronize Software Updates (ソフトウェア更新プログラムの同期)」を選択します。
- ステップ 4. 「Yes (はい)」をクリックして、サイト全体でのソフトウェア更新の同期を開始します。同期処理は終了まで数分かかることがあります。処理が完了したことを示す表示はありません。
- ステップ 5. 次の手順を実行して、同期が正常に完了したかどうかを確認します。
- ナビゲーション・ペインで、「Monitoring (監視)」 → 「System Status (システム・ステータス)」 → 「Site Status (サイトのステータス)」の順に展開します。
 - 「site server (サイト・サーバー)」を展開して、「Component Status (コンポーネントのステータス)」をクリックします。
SCCM サーバーのコンポーネントおよび各コンポーネントの状況のリストが、結果ペインに表示されます。
 - 結果ペインで、「SMS_WSUS_SYNC_MANAGER」を右クリックして、「Show Messages (メッセージを表示)」 → 「All (すべて)」を選択します。
サイト・サーバーの「SMS Status Message Viewer (SMS ステータス メッセージ ビューアー)」ウィンドウが開き、WSUS Sync Manager の状況メッセージが表示されます。同期処理が開始された時刻、進行中であった時刻、および完了したかどうかを示す最新のメッセージに注目してください。
- ステップ 6. 同期が正常に完了した後、次の図に示すように、ナビゲーション・バーの「Refresh (最新表示)」ボタンをクリックして、更新を最新表示します。

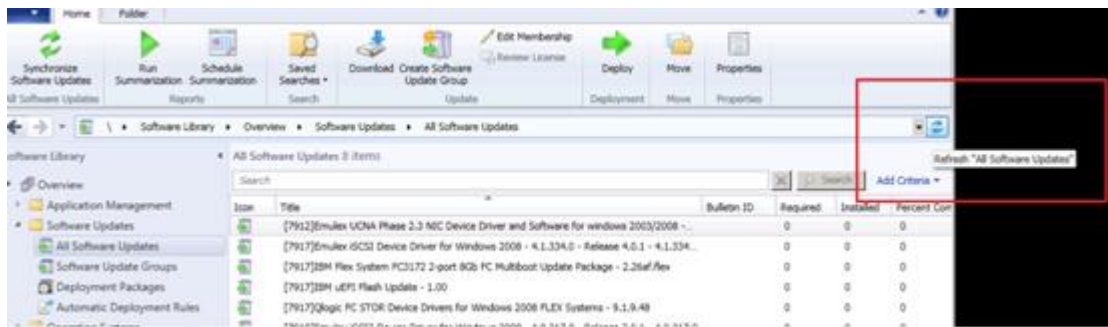


図 22. 更新の最新表示

公開された更新の表示

公開された更新を表示する方法について以下の手順で説明します。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. 「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center」 → 「Configuration Manager」 → 「Configuration Manager Console (Configuration Manager コンソール)」をクリックして Configuration Manager コンソールを起動します。
- ステップ 2. ナビゲーション・ペインで、「Overview (概要)」 → 「All Software Updates (すべてのソフトウェア更新)」の順に展開し、「All Software Updates (すべてのソフトウェア更新)」を右クリックします。



図 23. 公開された更新の表示

対応するクライアントに更新が展開された後、クライアントは次回にクライアント・システム上でソフトウェア更新がスキャンされるときに、各更新が各クライアントに対して適用可能であるかインストール済みであることをサイト・データベースに報告します。管理者は、報告されたデータを参照し、以下の情報に基づいて、どの更新を配布する必要があるかを決定することができます。

インストール済み

更新がインストールされたクライアントが示されます。

必須

更新がインストールされたクライアントが示され、更新が適用可能であり、まだインストールされていないこと、またはインストール状況がサイト・サーバー・データベースに達していないことが報告されます。

不要

更新が適用可能ではないクライアント数が示されます。

不明

更新が適用可能ではないクライアント、ソフトウェア更新コンプライアンスが正常にスキャンされなかったクライアント、またはスキャン結果がサイト・サーバーに報告されていないクライアントの数が表示されます。

重要： OneCLI は、その他のすべての Lenovo 更新の前提条件です。他のすべての Lenovo 更新の前にクライアント・システムにデプロイする必要があります。クライアント・システムに OneCLI パッケージがデプロイされていない場合、そのクライアント・システム上では、他の Lenovo 更新が「Not Required」(不要)とマークされます。

OneCLI パッケージが正常にデプロイされた後、ある更新がクライアント・システムにデプロイされていない場合は、更新のコンプライアンス結果に「Required」(必須)のマークが付けられます。

System Center Configuration Manager での Lenovo 更新のデプロイ

どの更新を配布する必要があるかを判別後、管理者はそれらの Lenovo 更新を選択し、デプロイメント・パッケージを作成することでそれらをクライアント・システムに配布します。

ターゲット・コレクションのクライアントが管理ポイントから新しいデプロイメント・パッケージを受け取ると、クライアントは、必要なソフトウェア更新バイナリーを含むデプロイメント・パッケージがある配布ポイントから、ソフトウェア更新をダウンロードします。その後、バイナリーがクライアントにインストールされ、対応ステータスがサイト・サーバーに報告されます。

ダウンロードおよび公開のフェーズは、System Updates Acquisition and Publishing Tool によって実行されます。

このセクションの他のトピックに、Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates の実装に関する詳細情報があります。

Lenovo 更新デプロイメント前提条件の確認

以下の手順を実行して、Lenovo 更新をデプロイするための前提条件を確認します。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. 「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center 2012」 → 「Configuration Manager」 → 「Configuration Manager Console (Configuration Manager コンソール)」をクリックして Configuration Manager コンソールを起動します。
- ステップ 2. ナビゲーション・ペインで、「Overview (概要)」を展開します。以下のステータス・ビューを1つ以上選択します。
 - Site Status (サイトのステータス)
 - Component Status (コンポーネントのステータス)
 - サイト・システムのステータス

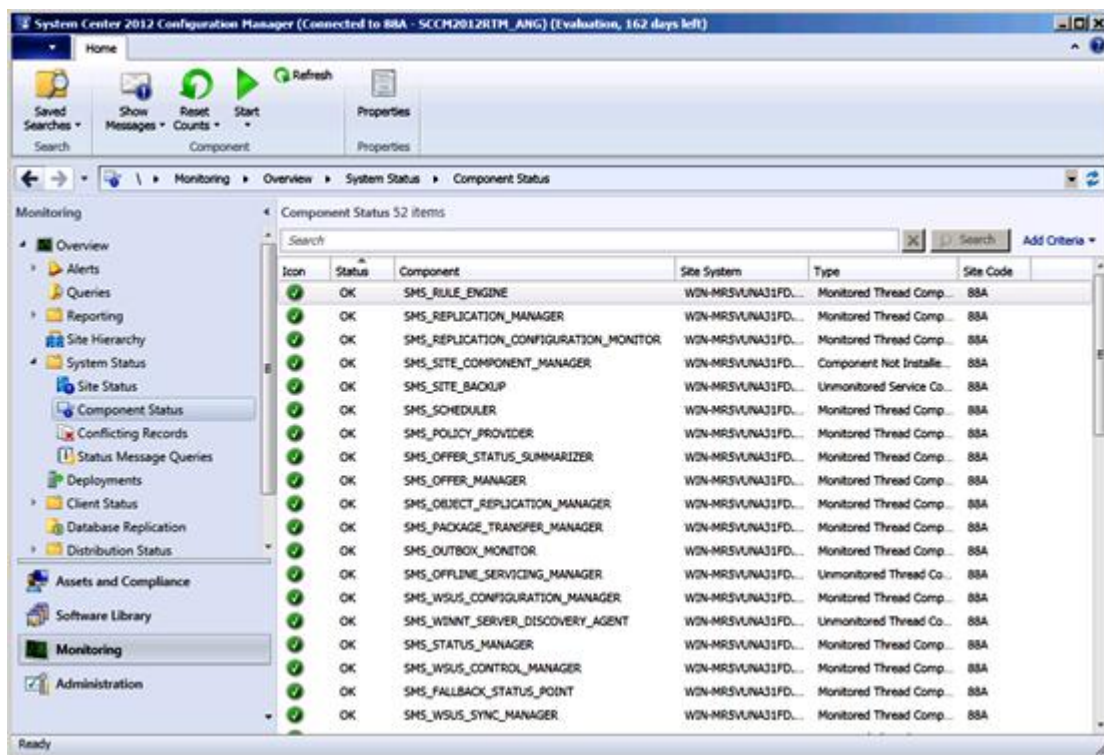


図 24. コンポーネントのステータス

コンポーネントが正しく機能している場合は、サイト状況、コンポーネント状況、およびサイト・システム状況が「OK」と表示され、SCCM サーバー状況は正常となります。

SCCM でのシステム更新ポイント役割の追加

システム更新ポイント役割を追加する方法について以下の手順で説明します。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. ナビゲーション・ペインで、「Administration (管理)」 → 「Overview (概要)」 → 「Site Configuration (サイトの構成)」 → 「Configuration Manager」 → 「Servers and Site System Roles (サーバーとサイト システムの役割)」 → 「%Site Name% (%サイト名%)」の順に展開します。
- ステップ 2. 「%Site Name% (%サイト名%)」を右クリックします。
- ステップ 3. 「Add Site System Roles (サイト・システム役割の追加)」を選択します。
「Add Site System Roles Wizard (サイト・システム役割の追加ウィザード)」が開きます。
- ステップ 4. 「Next (次へ)」をクリックします。
- ステップ 5. 「System Update Point (システム更新ポイント)」役割を選択します。

「Select a server to use as a site system (サイト・システムとして使用するサーバーの選択)」ページが開きます。

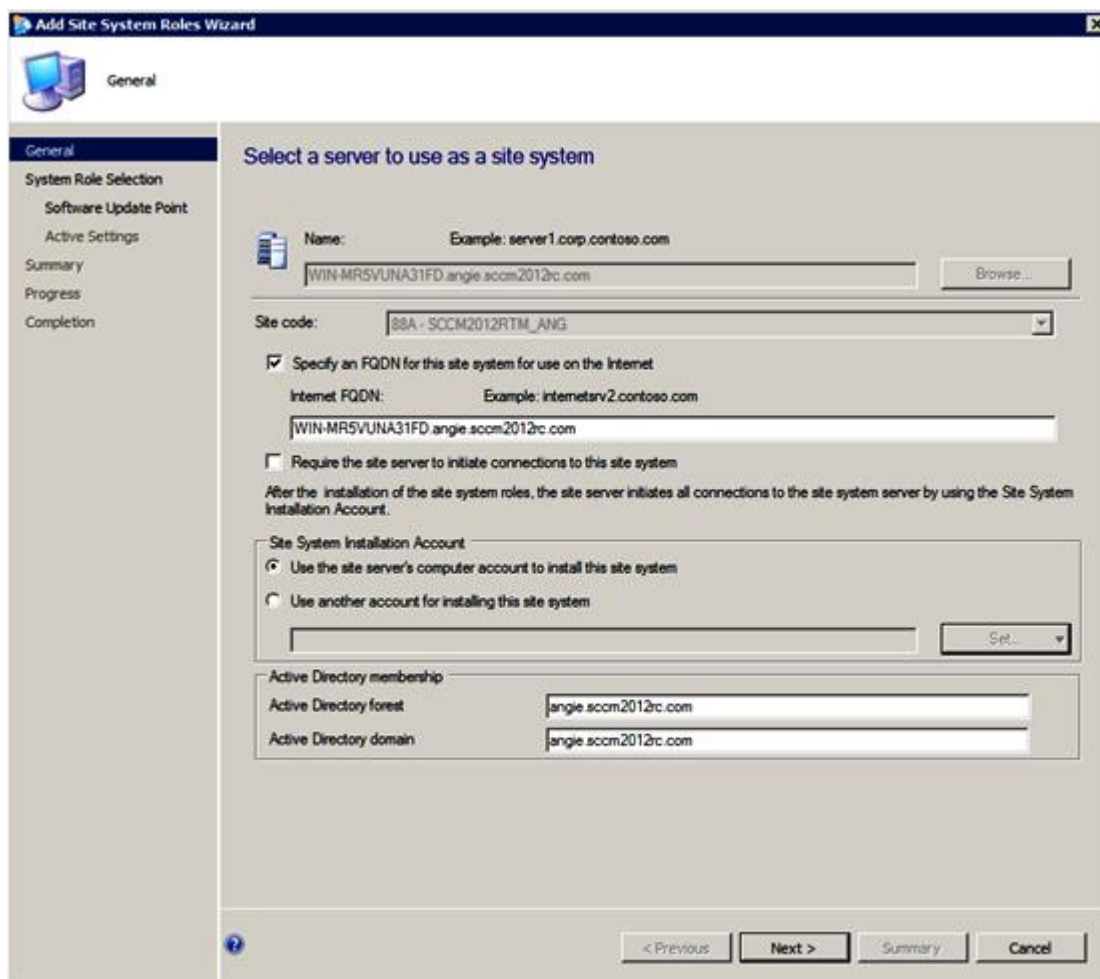


図 25. サイト・システムとして使用するサーバーの選択

ステップ 6. システム更新サービス・ポイントの構成用のデフォルト設定を受け入れます。

クライアント・マシンの構成

システム更新サービス・ポイントの追加後、更新を受け取るようにクライアント・マシンを構成する必要があります。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. 「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center 2012」 → 「Configuration Manager」 → 「Configuration Manager Console (Configuration Manager コンソール)」 をクリックして Configuration Manager コンソールを起動します。
- ステップ 2. クライアント・システムを検出して、System Center Configuration Manager (SCCM) サーバーを介して管理エージェントをインストールします。

- ステップ 3. クライアント・システム上で Windows Server Update Services (WSUS) 自己署名証明書を構成します。SCCM の管理対象クライアント・システムには、「信頼されたルート証明機関」フォルダー内に WSUS Publishers Self-signed 証明書があります。
- ステップ 4. Windows グループ・ポリシー・エディターを使用して、SCCM クライアント上で「Allow Signed Content from the intranet Microsoft update service location (イントラネットの Microsoft 更新サービスの保存場所にある署名済みコンテンツを許可する)」にチェックを入れます。
- ステップ 5. クライアント・コンピューター上でグループ・ポリシーを構成する方法はいくつかあります。以下の手順を実行してクライアント・コンピューター上でグループ・ポリシーを構成します。
- SCCM の管理対象クライアントのオペレーティング・システムで、「Start (スタート)」をクリックして「Run (ファイル名を指定して実行)」を選択します。「GPEDIT.MSC」を入力して「OK」をクリックします。
 - 「Computer Configuration (コンピュータの構成)」 → 「Administrative Templates (管理用テンプレート)」 → 「Windows Components (Windows コンポーネント)」 → 「Windows Update」を展開します。

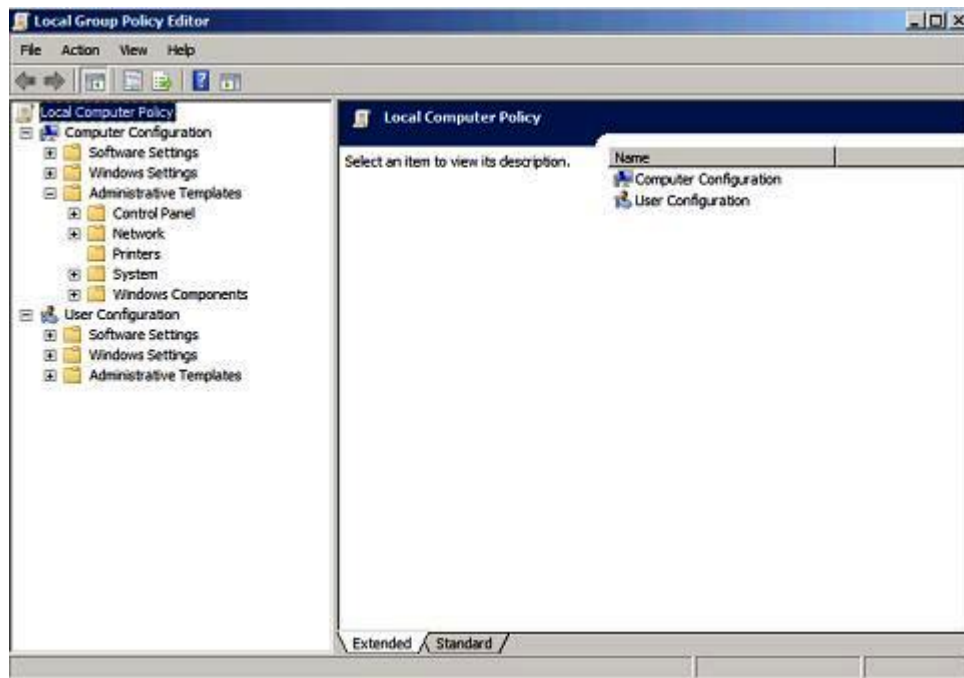


図 26. ローカル・コンピューター・ポリシーの構成

- 「Allow signed content from intranet Microsoft update service location (イントラネットの Microsoft 更新サービスの保存場所にある署名済みコンテンツを許可する)」をダブルクリックします。

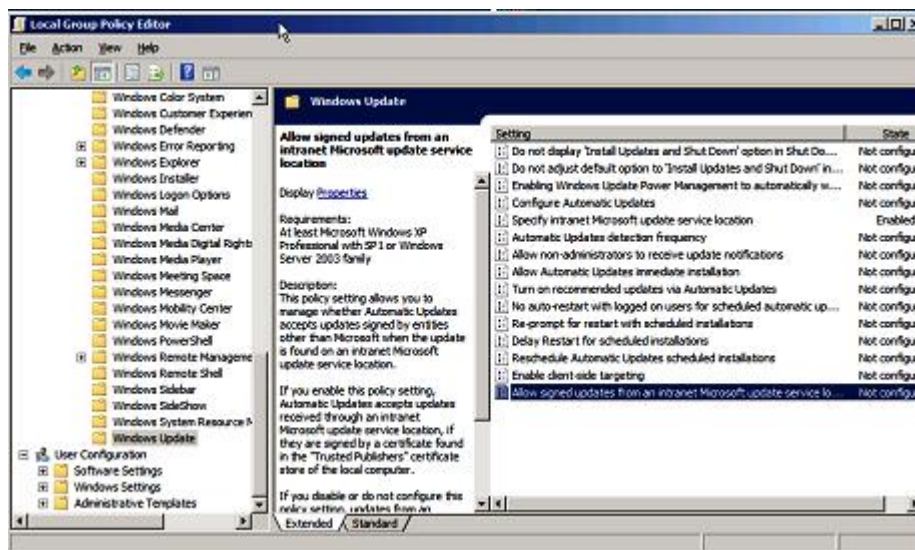


図 27. イン트라ネットの Microsoft 更新サービスの保存場所にある署名済み更新を許可

- d. 「Enabled (有効)」を選択して「OK」をクリックします。
- e. グループ・ポリシー・エディターを閉じます。

次に行うこと

Lenovo 更新を SCCM クライアントにデプロイする前に、Microsoft .NET Framework バージョン 4.0 以降 3.0、または 3.5 が SCCM クライアントにインストールされていることを確認してください。

SCCM サーバーから SCCM クライアントへの OneCLI のデプロイ

OneCLI は、その他のすべての Lenovo 更新の前提条件です。これは、他のすべての Lenovo 更新の前にクライアント・システムにデプロイする必要があります。

OneCLI がアップグレードされて、何らかの更新が Windows Server Update Services (WSUS) サーバーに公開され、より新しい OneCLI パッケージが存在することになると、SCCM サーバー上の古い OneCLI は、その新しい OneCLI に置き換えられます。

以下のトピックでは、パッケージが新しい OneCLI バージョンにアップグレードする場合に、さまざまな状況でパッケージをデプロイする 3 つの方式について説明します。

SCCM サーバーから SCCM クライアントへの OneCLI のデプロイ (旧 OneCLI バージョンがデプロイされていなかった場合)

以下の手順では、旧バージョンの OneCLI パッケージがデプロイされていなかった場合に、OneCLI パッケージを System Center Configuration Manager (SCCM) サーバーから SCCM クライアントへデプロイする方法について説明します。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. 「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center 2012」 → 「Configuration Manager」 → 「Configuration Manager Console (Configuration Manager コンソール)」 をクリックして Configuration Manager コンソールを起動します。
- ステップ 2. OneCLI マシン・フォルダーで「OneCLI」を右クリックして「Deploy (デプロイ)」を選択します。
- ステップ 3. デプロイメントを完了するには、43 ページの「方法 3: 既存のパッケージに新しいバージョンを追加することで OneCLI をデプロイしてアップグレードする」に記載されているステップ 6 からステップ 11 までに従います。

SCCM サーバーから SCCM クライアントへの OneCLI のデプロイ (旧 OneCLI がデプロイされている場合)

以下のトピックでは、旧 OneCLI パッケージがデプロイされている状態で OneCLI をアップグレードする場合に、System Center Configuration Manager (SCCM) サーバーから SCCM クライアントに OneCLI パッケージをデプロイする 3 つの方法について説明します。

方法 1: SCCM サーバーから SCCM クライアントに OneCLI パッケージをデプロイする

この方法は、古い OneCLI デプロイメント提供情報およびデプロイメント・パッケージを削除して新しい OneCLI デプロイメント・パッケージを作成する方法です。System Center Configuration Manager (SCCM) サーバーから SCCM クライアントに OneCLI パッケージをデプロイする方法について以下の手順で説明します。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. 「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center 2012」 → 「Configuration Manager」 → 「Configuration Manager Console (Configuration Manager コンソール)」 をクリックして Configuration Manager コンソールを起動します。
- ステップ 2. ナビゲーション・ペインで、「Software Library (ソフトウェア・ライブラリー)」 → 「Overview (概要)」 → 「Deployment Packages (展開パッケージ)」の順に展開します。「Deployment Package (展開パッケージ)」ページが開きます。
- ステップ 3. 結果ペインで、古い OneCLI デプロイメント・パッケージを右クリックして、「Delete (削除)」を選択します。
- ステップ 4. デプロイする OneCLI パッケージを右クリックして、「Deploy (デプロイ)」をクリックします。

方法 2: 新規 OneCLI パッケージを古いパッケージと共存するようにデプロイする

この方法は、既存の OneCLI パッケージを削除せずに新規 OneCLI パッケージをデプロイします。古い OneCLI パッケージと共存するように新規 OneCLI パッケージをデプロイする方法について以下の手順で説明します。これにより、OneCLI がレガシー・マシンをサポート・リストから削除しても、そのレガシー・マシンを更新し続けることができます。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

- ステップ 1. 「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center」 → 「Configuration Manager」 → 「Configuration Manager Console (Configuration Manager コンソール)」 をクリックして Configuration Manager コンソールを起動します。

ステップ2. ナビゲーション・ペインで、「Software Library (ソフトウェア・ライブラリー)」 → 「Overview (概要)」 → 「Deployment Packages (展開パッケージ)」の順に展開します。
「Deployment Package (展開パッケージ)」ページが開きます。

ステップ3. デプロイする OneCLI を右クリックして、「Deploy (デプロイ)」をクリックします。

方法 3: 新規 OneCLI パッケージを既存の OneCLI デプロイメント・パッケージに追加する

この方法は、新規 OneCLI パッケージを既存の OneCLI デプロイメント・パッケージに追加します。以下の手順では、新規 OneCLI パッケージの追加方法について説明しています。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

ステップ1. 「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center 2012」 → 「Configuration Manager」 → 「Configuration Manager Console (Configuration Manager コンソール)」をクリックして Configuration Manager コンソールを起動します。

ステップ2. ナビゲーション・ペインで、「Software Library (ソフトウェア・ライブラリー)」 → 「Overview (概要)」 → 「Deployment Packages (展開パッケージ)」の順に展開します。

ステップ3. 結果ペインで、デプロイする OneCLI パッケージを右クリックして、「Deploy (デプロイ)」を選択します。
「General (全般)」ページが開きます。

ステップ4. このデプロイメントに関して以下の情報を入力します。

- a. **Name (名前)**: 固有の名前を入力します。
- b. **Description (説明)**: ソフトウェア更新デプロイメントを識別するときに役立つ詳細な説明を入力します。

ステップ5. 「Select Deployment Template (展開テンプレートの選択)」をクリックします。
「Select a Template (テンプレートの選択)」ウィンドウが開きます。

ステップ6. リストからテンプレートを選択するか、「Filter (フィルター)」フィールドにテンプレートの名前を入力してテンプレートを検索し、「OK」をクリックします。

ステップ7. 「Next (次へ)」をクリックします。
「Summary (要約)」ページが開きます。

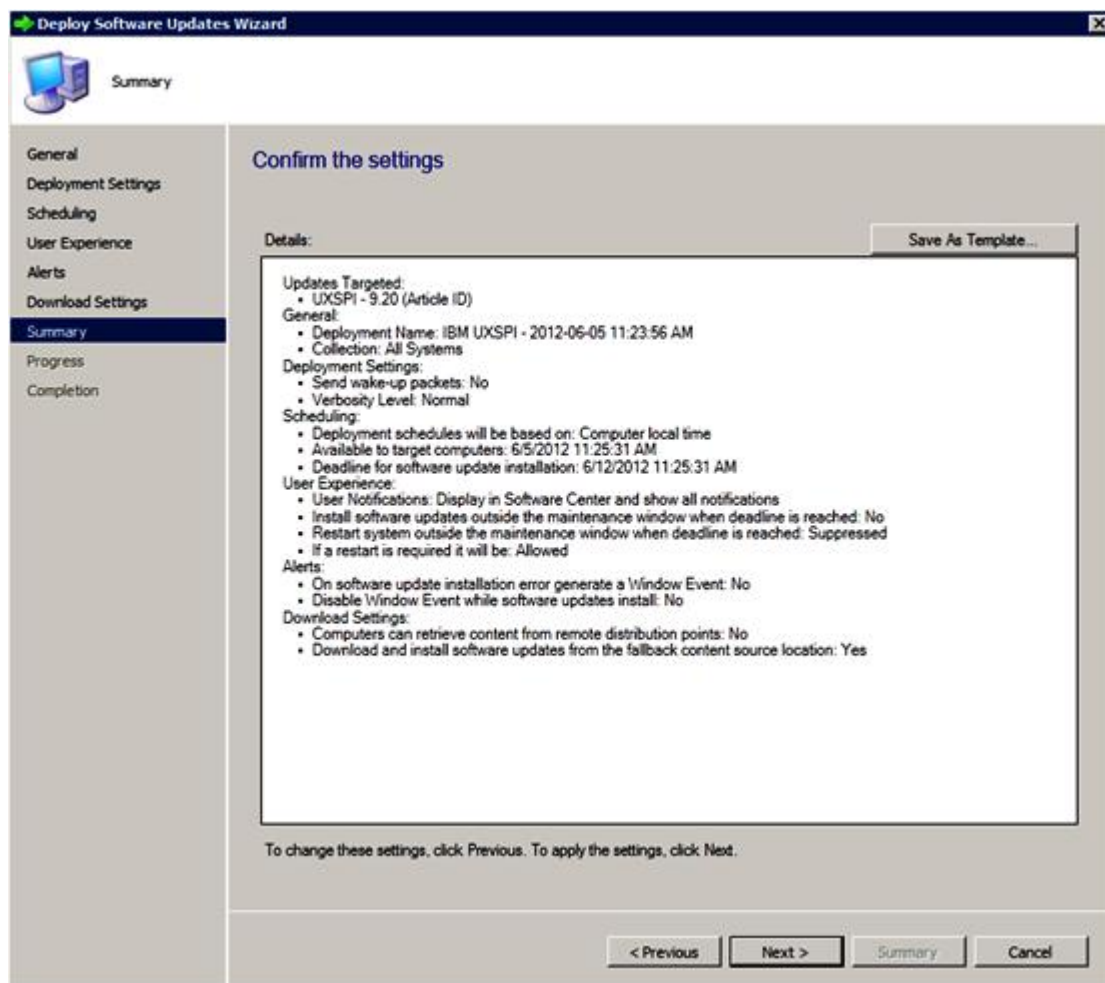


図 28. 「Summary (要約)」 ページ

ステップ 8. 「Next (次へ)」をクリックして現行テンプレート設定を使用するか、「Previous (前へ)」をクリックして設定を変更します。このステップについては、52 ページの「SCCM サーバーからSCCM クライアントへのOneCLIのデプロイ」を参照してください。

SCCM サーバーから SCCM クライアントへの Lenovo 更新のデプロイ

Configuration Manager (SCCM) サーバーから SCCM クライアントに Lenovo 更新をデプロイする方法について以下の手順で説明します。

このタスクについて

このタスクは、Configuration Manager コンソールから実行します。

手順

ステップ 1. 「Start (スタート)」 → 「All Programs (すべてのプログラム)」 → 「Microsoft System Center 2012」 → 「Configuration Manager」 → 「Configuration Manager Console (Configuration Manager コンソール)」をクリックして Configuration Manager コンソールを起動します。

ステップ 2. ナビゲーション・ペインで、「Software Library (ソフトウェア・ライブラリー)」 → 「Overview (概要)」 → 「Deployment Packages (展開パッケージ)」の順に展開します。

ステップ3. 結果ペインで、右クリックしてデプロイメントの更新を選択し、「**Deploy Software Updates** (ソフトウェア更新プログラムの展開)」を選択します。このアクションは、次の図にあるように実行します。

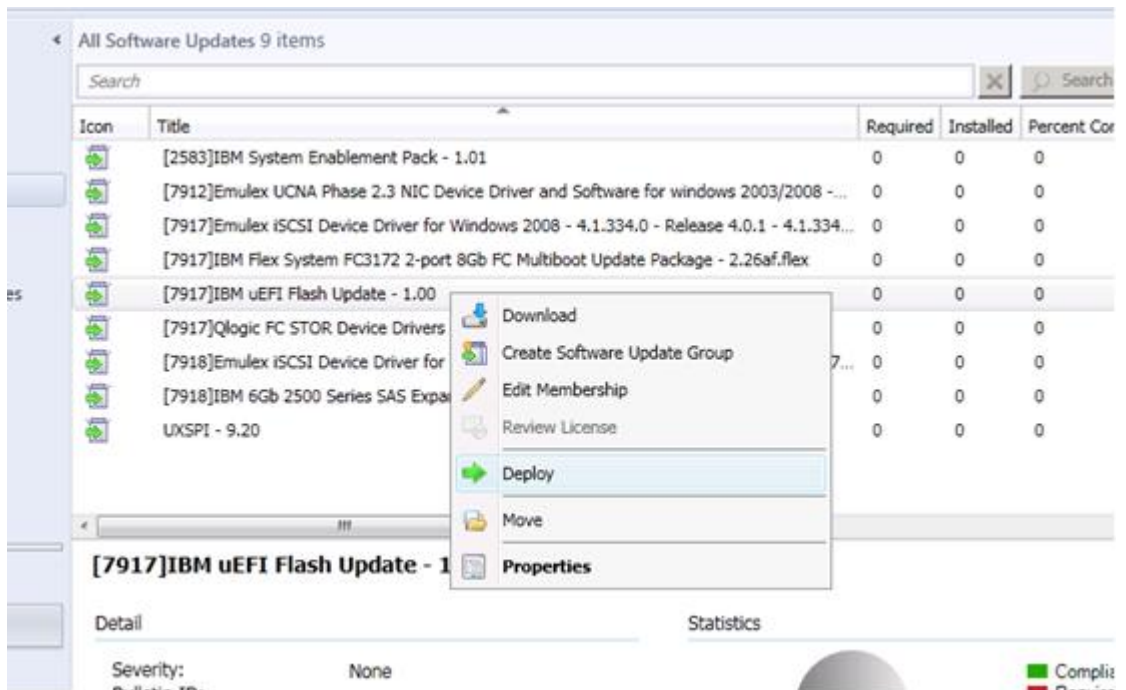


図29. SCCM サーバーからSCCM クライアントへの Lenovo 更新のデプロイ

ステップ4. デプロイメントを完了するには、43 ページの「方法3: 既存のパッケージに新しいバージョンを追加することで OneCLI をデプロイしてアップグレードする」に記載されているステップ6からステップ11までに従います。

付録 A トラブルシューティング

このセクションのトピックは、Lenovo System Updates で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングに役立ちます。

SUAP ログ・ファイルの構成方法

System Updates Acquisition and Publishing Tool ホスト・マシンおよび System Center Configuration Manager (SCCM) クライアント・マシンの両方の System Updates Acquisition and Publishing Tool のログ・レベルの値を変更できます。

System Updates Acquisition and Publishing Tool は、以下のレジストリー・キーを使用してログ・レベルを記録します。

- [HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Lenovo\System Management Integrations\Log]
- LogLevel=Info

使用可能な *LogLevel* 値は、Debug (デバッグ)、Info (情報)、Warning (警告)、Error (エラー)、および Fatal (致命的) です。

デフォルトでは、Info (情報) 値が使用されます。

Lenovo Web サイトからの更新のダウンロードに失敗する

このトピックでは、更新のダウンロードがどのように失敗したかをトラブルシューティングするために使用可能な解決策を提供します。

問題

ダウンロードが失敗する

考えられる解決策

System Updates Acquisition and Publishing Tool が Web ブラウザーを使用して Lenovo 更新リポジトリー・サーバーに接続できるかどうか、[Fix Central Web サイト](#) に接続して確認します。
Lenovo 更新リポジトリーに接続できなかった場合は、次のエラーが表示されます。

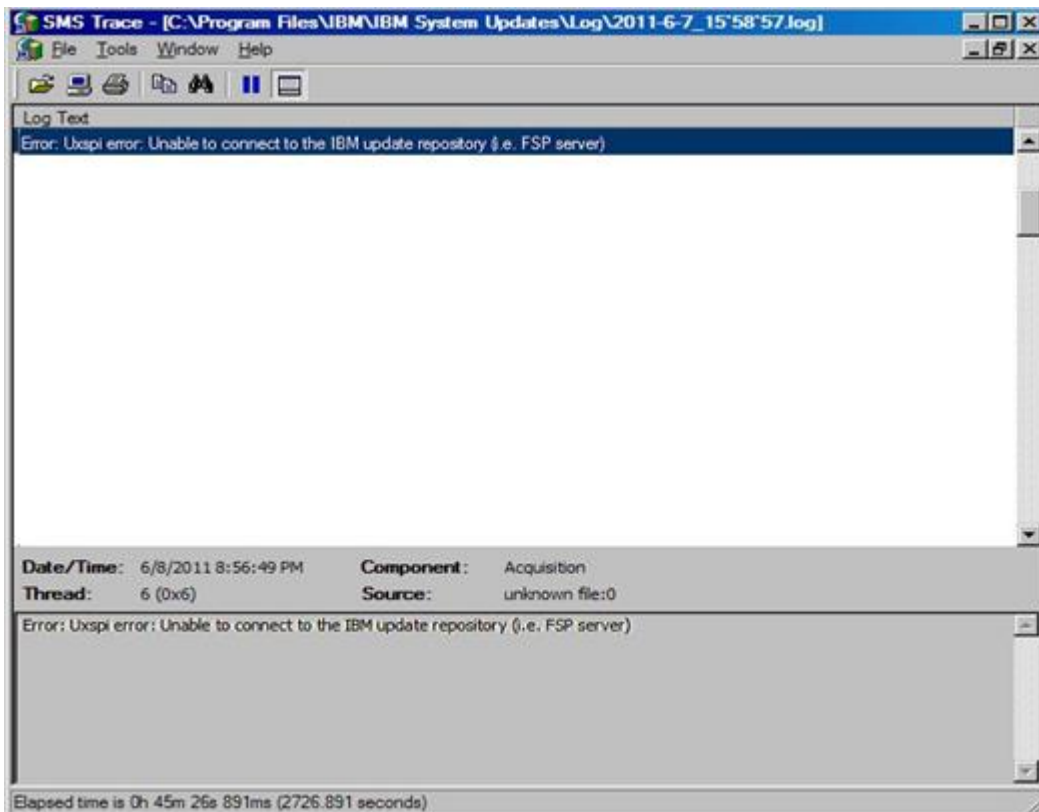


図 30. 更新リポジトリに接続できないエラー

ヒント: %SystemDrive%\Program Files\IBM\IBM System Updates\Log にある SUAP ログ・ファイルを参照して、詳細を確認してください。

System Updates Acquisition and Publishing Tool から Windows Server Update Services に更新を公開できない

問題

System Updates Acquisition and Publishing Tool から Windows Server Update Services に更新を公開できない。

考えられる解決策

%SystemDrive%\Program Files\IBM\IBM System Updates\Log にある SUAP ログ・ファイルを確認し、何が発生したかを確認します。

ファイル署名の検証が失敗するエラーが原因で、System Updates Acquisition and Publishing Tool から Windows Server Update Services に更新を公開できない

問題

ファイル署名の検証が失敗するエラーが原因で、System Updates Acquisition and Publishing Tool が Windows Server Update Services への更新の公開に失敗する。

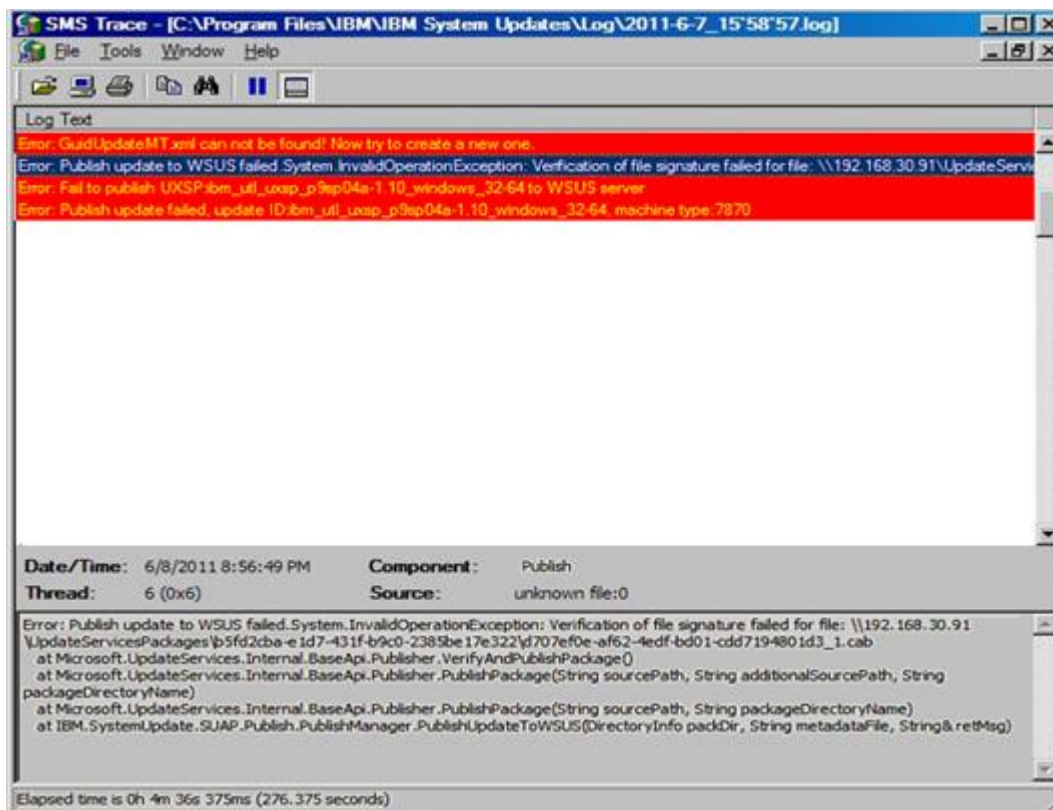


図 31. ファイル署名の検証の失敗

考えられる解決策

9 ページの「「Setup (セットアップ)」ウィザード」の説明に従って、WSUS Publishers Self-signed 証明書が「Trusted Root Certification Authorities (信頼されたルート証明機関)」にコピーされたことを確認してください。

SSL 接続障害のために更新が失敗する

問題

セキュア・ソケット・レイヤー (SSL) を使用して System Updates Acquisition and Publishing Tool・コンピュータから Windows Server Update Services (WSUS) サーバーに更新を公開するときに、エラー・メッセージが表示される。

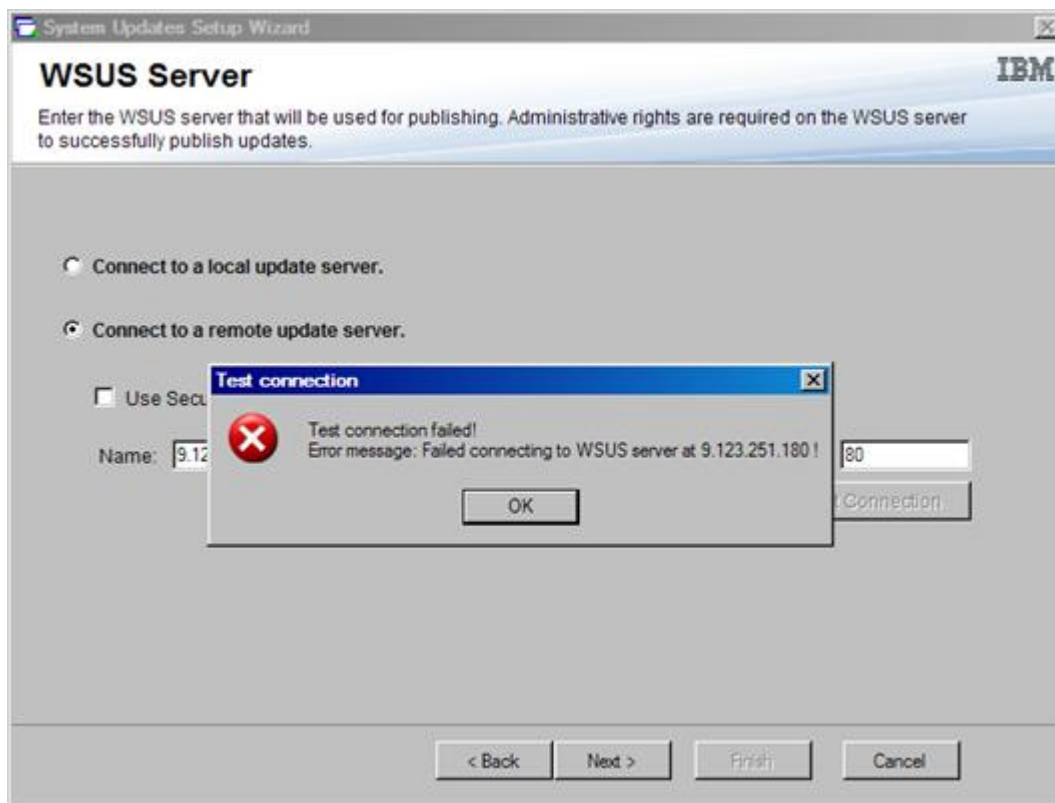


図 32. WSUS サーバーへの接続が失敗したことを示すメッセージ

考えられる解決策

「9 ページの「「Setup (セットアップ) ウィザード」」の説明に従って SSL を構成するか、SSL 機能を使用せずに公開を行います。

System Updates Acquisition and Publishing Tool の実行中に、レジストリー内のログ・レベル値の変更が有効にならない

問題

System Updates Acquisition and Publishing Tool の実行中にログ・レベル値を変更しても、新規の値が即時に有効にならない。

考えられる解決策

System Updates Acquisition and Publishing Tool を閉じてから、再度ツールを起動して変更を有効にしてください。

更新が Microsoft System Center Configuration Manager サーバーから Microsoft System Center Configuration Manager クライアントにデプロイされない

問題

更新が System Center Configuration Manager (SCCM) サーバーから SCCM クライアントにデプロイされない。

考えられる解決策

以下の手順を実行します。

1. レジストリー内の Windows Update Error Level を拡張します。

2. レジストリー・キーに、以下の値を追加します。
 - a. 値名: *Flags*
 - 値タイプ: REG_DWORD
 - 値データ: *00000007*
 - b. 値名: *Level*
 - 値タイプ: REG_DWORD
 - 値データ: *00000004*
3. %systemroot%\Windowsupdate.log ファイルを確認し、失敗に関する詳細情報を取得します。

このレジストリー・キーは、%systemroot%\Windowsupdate.log ファイルへ拡張トレースをオンにします。

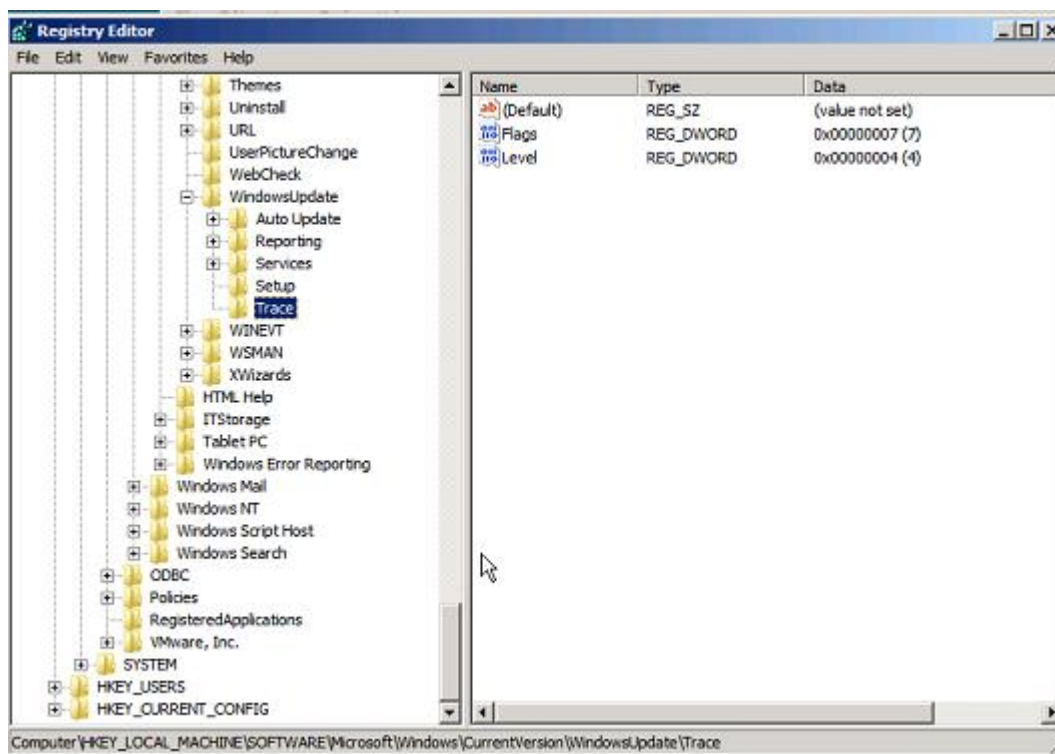


図 33. トレース・レジストリー・キーの変更

ファイアウォールの制限のために、更新が Microsoft System Center Configuration Manager クライアントにデプロイされない

問題

ファイアウォールの制限のために、更新が SCCM クライアントにデプロイされない。

考えられる解決策

Windows ファイアウォールで、SCCM 相対 URL に対応するポートを開きます。

更新がクライアント・マシンにインストールされない

クライアント・マシンに更新をインストールできない理由をトラブルシューティングするには、このトピックを使用します。クライアント・システムのオペレーティング・システムが Windows Server 2008 である場合は、更新履歴を確認して、さらに詳しい情報を取得することができます。

このタスクについて

result.txt ログ・ファイルは、OneCLI によって生成され、更新プロセスに関する詳細情報を収容しています。更新がクライアント・システムにインストールされない場合は、result.txt ファイル (C:\ibm_support\SUAP\%update_id%\result.txt) で未完了インストールに関する詳細を確認できます。

手順

- ステップ 1. 「Start (スタート)」 → 「Windows Update」 → 「View update history (更新履歴の表示)」をクリックします。
- ステップ 2. 「update history view (更新履歴ビュー)」を開きます。
- ステップ 3. 「Update (更新)」を右クリックして「View Detail (詳細の表示)」を選択します。詳細には、エラー・コードが含まれています。
- ステップ 4. 次の表で、そのエラー・コードの説明を見つけます。

表 3. エラー・コード

16 進数の戻りコード	10 進数の戻りコード	説明
0	0	成功 (個別の更新または UXSP)。
0xB	11	このシステム構成には、個別の更新を適用できません。たとえば、システム上に必要なハードウェアが存在しません。
0xC	12	インストールする更新が選択されていません。たとえば、個別の更新が、ターゲット・システムにインストールされているものより古いバージョンです。
0xD	13	この個別の更新の前提条件が満たされていません。たとえば、必要なソフトウェアがインストールされていないか、ハードウェアが正しく構成されていない可能性があります。
0xE	14	その他の理由で個別の更新が失敗します。
0x18	24	ターゲット・マシン上で UXSP が失敗します。

一部の更新においてインストールを終了するためにクライアント・サーバーを再起動しなければならない場合がある

一部の更新においてインストールを終了するためにクライアント・サーバーを再起動しなければならない場合があります。

問題

Lenovo UpdateXpress System Pack Installer のインストールが何らかの理由で失敗した場合に、インストール・ウィンドウに「Failed results」(失敗結果)というメッセージが表示されます。一部の更新が既にインストールされていた可能性があります。その場合、更新のインストールを終了するためにクライアント・サーバーを再起動しなければならないことがあります。

考えられる解決策

up_result.xml ファイルを確認し、クライアント・サーバーを再起動する必要があるかを判断してください。

Windows Updates の通知が Microsoft System Center Configuration Manager クライアントに表示されるのが遅い

Windows Updates 通知が SCCM クライアントに表示されるのが遅い場合は、Configuration Manager プロパティを変更して処理の速度を上げることができます。

問題:

Windows Updates 通知ページの SCCM クライアントへの表示が遅い。

考えられる解決策:

以下の手順を実行します。

1. 「Control Panel (コントロールパネル)」を開きます。いくつかの SCCM エージェント・コンポーネントがあります。



図 34. 「コントロールパネル」内のSCCM エージェント

注：Windows 64 ビット・プラットフォームでは、上記のコンポーネントは、コントロールパネルの「View 32bit Control Panel Items (32 ビットのコントロールパネル項目の表示)」フォルダーにあります。

2. 「Configuration Manager」をクリックします。Configuration Manager の「Properties (プロパティ)」ウィンドウが開きます。
3. 「Actions (操作)」タブで、以下のいずれかの操作を選択して実行します。
 - ソフトウェアの更新のデプロイメント評価サイクル
 - ソフトウェアの更新のスキャン・サイクル
 - ユーザー・ポリシーの取得および評価サイクル

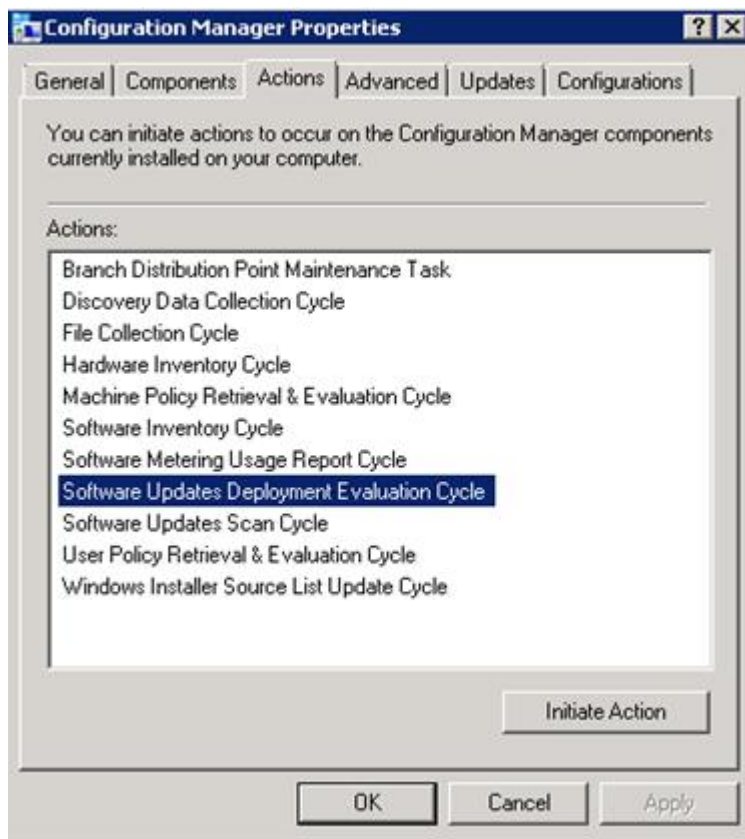


図 35. 「Configuration Manager properties (Configuration Manager のプロパティ)」の開始

Lenovo 更新をSCCM クライアントにインストールできない

Lenovo 更新を SCCM クライアントにインストールできない場合は、Microsoft .NET Framework バージョン 4.0 以降以降を SCCM クライアントにインストールする必要がある可能性があります。

問題:

Lenovo 更新を SCCM クライアントにインストールできない。

考えられる解決策:

Lenovo 更新は、Microsoft .NET Framework バージョン 4.0 以降以降が SCCM クライアント・システムにインストールされている必要があります。これが SCCM クライアント・システムにインストールされていることを確認してください。

System Updates Acquisition and Publishing Tool ツールからの更新を有効期限切れにすることができない

System Updates Acquisition and Publishing Toolからの更新を有効期限切れにすることができない理由をトラブルシューティングするには、このトピックを使用します。

問題:

更新の有効期限が切れ、System Updates Acquisition and Publishing Toolを通じて公開された後で、それらの更新が SCCM コンソール上で「expired (期限切れ)」と表示されない。

考えられる解決策:

SCCM サーバーの同期設定が正しく構成されていることを確認します。詳しくは、[Microsoft System Center – ソフトウェアの更新ポイントの設定の計画 Web ページ](#)を参照してください。

シーケンス・パッケージがクライアント・システムにインストールされない

このトピックは、シーケンス・パッケージがクライアント・システムにインストールされない理由についてトラブルシューティングするために使用します。

問題

インストールが正常に行われたことが Windows 更新履歴に示されていても、シーケンス・パッケージがクライアントにインストールされていない場合があります。

考えられる解決策

シーケンスに含まれている更新が、ターゲット・システムに適用可能であることを確認してください。C:\lenovo_support\SUAP\%update_id%\result.txt にあるログ・ファイル内の結果で詳細情報を確認してください。

付録 B アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザーが情報技術製品を快適に使用できるようにサポートします。

Lenovo は、年齢あるいは身体的能力に関係なく、あらゆるユーザーがアクセスできる製品を提供するよう努力しています。

Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates は、システム管理ソフトウェアに組み込まれているアクセシビリティ機能をサポートします。アクセシビリティ機能およびキーボード・ナビゲーションに関する具体的な情報については、ご使用のシステム管理ソフトウェアの資料を参照してください。

Lenovo System Updates のトピック集およびその関連資料は、Lenovo ホーム・ページ・リーダーのアクセシビリティ機能が有効になっています。すべての機能を、マウスの代わりにキーボードを使用して操作することができます。

Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates の資料は、Adobe Acrobat Reader を使用して Adobe PDF 形式で表示することができます。この PDF には、Microsoft System Center Configuration Manager 対応 Lenovo System Updates のダウンロード・サイトからアクセスすることができます。

Lenovo とアクセシビリティ

アクセシビリティに対する Lenovo の取り組みについて詳しくは、[Lenovo アクセシビリティ Web サイト](#)を参照してください。

付録 C 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、他の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務を負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

LENOVO、FLEX SYSTEM、SYSTEM X、NEXTSCALE SYSTEM は Lenovo の商標です。

インテルおよび Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の商標はすべて、個々の所有者の財産です。© 2019 Lenovo

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なります。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

Lenovo